

「武蔵野の公園」グループ

事業計画書

武蔵野の公園パートナーズ

目 次

I 支出計画

II 事業計画

1 管理運営に関する基本的事項

- (1) 公の施設の管理運営に対する基本的考え方
- (2) 都立公園の管理運営における基本理念
- (3) 指定管理者の責務

2 人員配置計画等

- (1) 人員配置計画
- (2) 組織体制・指揮命令系統と役割分担
- (3) 人材の確保と職員の技術・能力向上への取組

3 運営管理計画

- (1) 都立公園の管理運営についての実施方針と具体的な取組
- (2) 質の高いサービスを提供するための具体的な取組
- (3) 利用者要望の把握方法と管理業務への反映方法
- (4) 都民協働や地域コミュニティとの連携による公園の魅力や地域の価値の向上につながる取組
- (5) 公園の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の提案
- (6) 東京 2020 大会レガシーを継承する取組

4 施設維持管理計画

- (1) 適切な維持管理を行うための取組
- (2) 事故、自然災害及び感染症などの社会課題への対策・対処するための取組
- (3) 施設補修、施設改良に関する要望への取組
- (4) 維持管理業務の進め方（野川公園）
- (5) 公園が持つ緑の特性を一層引き出すための新たな維持管理の考え方

I 支出計画

単位:千円

年 度	提案額
5年度	367,316
6年度	367,316
7年度	367,316
8年度	367,316
9年度	367,316
計	1,836,580

II 事業計画

1. 管理運営に関する基本的事項

(1) 公の施設の管理運営に対する基本的考え方

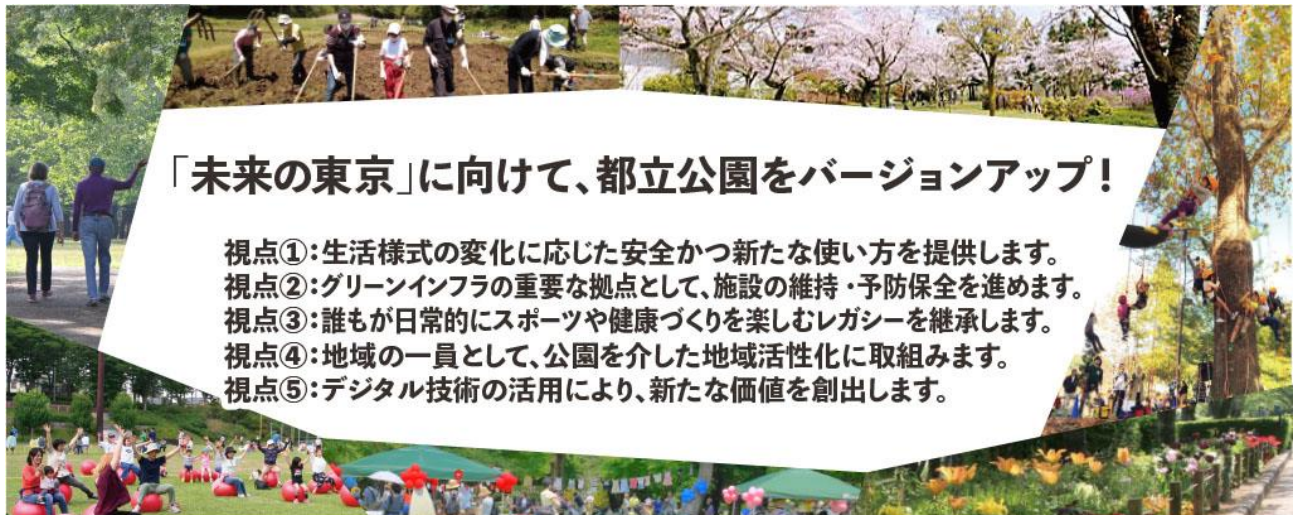
1 指定管理者の役割

都立公園は、都民の福祉の増進と生活文化の向上に寄与することを目的とした公の施設です。指定管理者は、法令や条例等に基づく適切な管理運営を行い、都立公園の設置目的、「東京都パークマネジメントマスタープラン」（平成27年3月）、「公園別マネジメントプラン改定の視点と取組イメージ」（令和4年3月）を踏まえ、行政の代行者としての責務を果たすとともに、民間ならではの創意工夫ある企画や効率的な運営等により、利用者の多様なニーズに応え、質の高いサービスを提供していく役割があります。

2 管理運営に対する基本的考え方

●時代のニーズや状況変化に対応し、東京都とともに「未来の東京」戦略を進めます。

これまでの都立公園の指定管理者として取組んできた、パークマネジメントマスタープランに掲げる4つの基本理念に基づく事業を、時代のニーズや状況変化に迅速に対応するアジャイル思考でさらにバージョンアップし、東京都と一体となって、「未来の東京」戦略を進めます。



上記の視点でこれまでの取組を継承・発展！

都市の魅力を高める公園

公園と地域の両面から都市の魅力を高めます

高度防災都市を支える公園

防災ネットワーク・ノウハウを活かし地域防災力を高めます

生命を育む環境を次世代に継承する公園

東京の生物多様性の向上に貢献します

豊かな生活の核となる公園

パートナーシップで地域の課題解決に取り組めます

●指定管理者として信頼ある事業活動を展開します。

私たちは、法令や社会的規範を遵守し、適正な事業活動を行い、安全で快適な公園づくりを徹底します。またコンソーシアムの強みを生かし、多様な主体との協働・連携、地域活性化や地域価値向上に資する地域貢献、さらに効果的かつ効率的な取り組みや新技術の活用など、費用対効果を考慮しながら民間活力の導入を進め、公園を拠点に社会課題の解決に取り組めます。

この考えのもと、都民に信頼される指定管理者として、コンプライアンスを遵守し、スタッフ一人ひとりの能力をさらに高め、チームが一丸となって質の高いパークマネジメントを展開します。



いきいきと働くスタッフ

3 「未来に向けて、都立公園をバージョンアップ！」の視点

視点① ポストコロナを見据えた社会への順応

生活様式の変化に応じた安全かつ新たな公園の使い方を提供します。

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、これまで以上により公園が身近なものとなり、幅の広い利用者層が日常的に利用するようになりました。公園のあり方がより重要になっており、これまでの取組を活かしつつ、「個」の多様な利用が促進される工夫の拡充や、遠くても公園と繋がれる仕組みの確保等、新しいニーズを取り込んだ管理運営にバージョンアップしていきます。

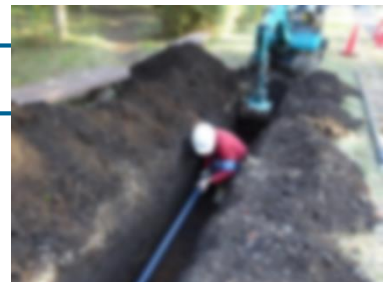


公園からのライブ配信による生き物解説プログラム(野川公園)

視点② 激甚化する気象災害への対応

グリーンインフラの重要な拠点として、施設の維持・予防保全を進めます。

激甚化する気象災害に対応していくために、タイムラインに沿った、災害時の利用者や地域の安全の視点で公園を再点検するとともに、雨水貯留機能やヒートアイランド現象の緩和、生物多様性等の多様な公園機能を踏まえた維持管理・施設修繕・予防保全等、グリーンインフラの拠点として寄与する管理運営にバージョンアップしていきます。



老朽化した公園の給水系統をリノベーション(武蔵野公園)

視点③ 東京2020大会レガシーの継承

誰もが日常的にスポーツや健康づくりを楽しむレガシーを継承します。

私たちは年齢や性別、障害者や国籍等に関係なく、ともに認め合える共生社会の実現に向け、都民とともに東京2020大会と一緒に盛り上げてきました。その取組の成果をレガシーとして継承します。特に、少子高齢化社会に対応し、子どもの健やかな成長、高齢者や障害者の健康づくり等のサポートを充実し、誰もが安心して利用できる公園づくりに力を入れていきます。

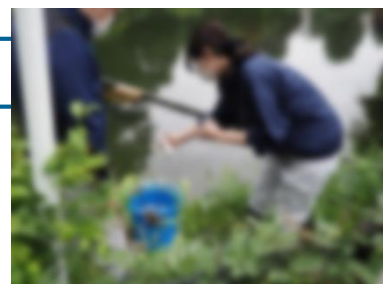


スポーツ総合イベント「チャレンジキャラバン」の開催(武蔵国分寺公園)

視点④ 民間や地域との連携強化

地域の一員として、公園を介した地域活性化に取り組めます。

東京都の文化都市としての魅力向上に寄与していくよう、これまでの都民協働、地域連携を進めるだけでなく、地域の企業等と連携し、社会実験の場として新たな公園の可能性を広げ、地域活性化につなげていきます。また、子ども達が社会の一員として参画できる取組を通じて、総合的に公園の質を高める管理運営にバージョンアップしていきます。



微粒子解析技術を持つ地元企業の協力による水質調査(武蔵国分寺公園)

視点⑤ DXの推進

デジタル技術の活用により、新たな価値を創出します。

デジタル技術の普及により、利便性の向上やリアルとバーチャルのシームレス化等、社会が大きく変容しています。このような社会変容に対応していくため、様々なデジタル技術の活用によって、公園の魅力発信や交流を促進すること、維持管理・保全情報の統合化やAIロボット導入等による公園のスマート化を進め、より利便性、効率性、快適性を高め、新たな価値を生み出すパークマネジメントにバージョンアップしていきます。



芝刈りにAIロボットを活用し、人件費削減、焼却ごみ削減を実現(陵南公園で実施)

(2) 都立公園の管理運営における基本理念

1 これまでの管理運営の成果

武蔵野の公園グループにおいては、「人・自然・まちが元気になる公園づくり」を基本理念に、武蔵野地域の自然環境・歴史性・文化性を活かした公園のさらなる利活用の可能性を追求し、**地域と積極的に関わりながら、多様な主体との連携**を進めてきました。

東京2020大会をはじめ、各公園で生まれた多様な機運を、持続可能なまちづくりに向けた「チャンス」と捉え、公園利用の可能性をさらに拡充させながら、**都市のブランド力向上に寄与する取組**を進めてきました。国土交通省「**ガーデンツーリズム登録制度**」に都内で初登録が実現し、全国に武蔵野の魅力を発信しています。

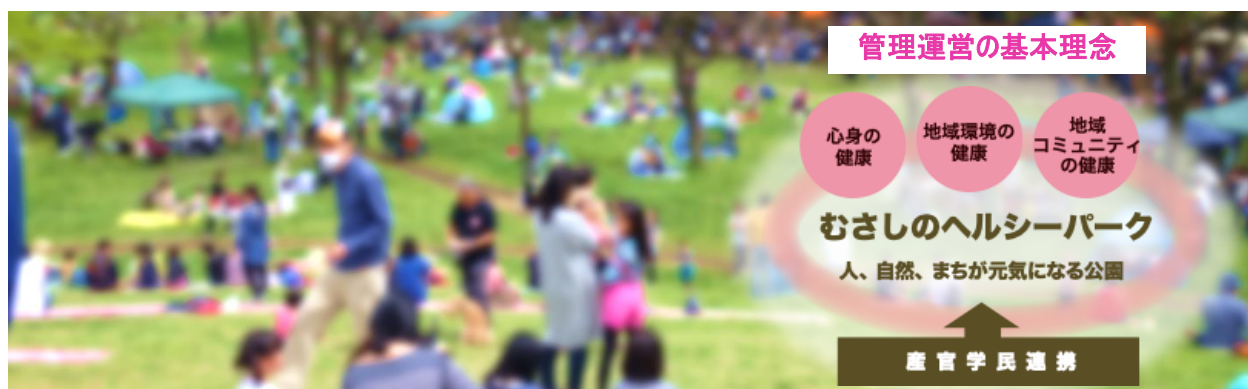


地域の象徴的なイベントに育った
「あったらいいなをみんなで作る
公園プロジェクト」

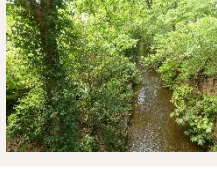
2 管理運営の基本理念と、指定管理終了後の各公園の姿

これまで地域特性を活かした産官学民の取組「むさしの・パークイニシアチブ」によって生まれたさまざまなチャンスを活かし、「CHANCE IN THE PARK」として、公園の利用可能性をさらに拡充してきました。

今後、この考え方をさらに継承・発展させ、スポーツやボランティア活動を通じて「**心身の健康**」、地域連携や協働イベントを通じた「**地域コミュニティの健康**」、生物多様性や環境負荷軽減等の「**地域環境の健康**」という3つのヘルシーを実現させる「**むさしのヘルシーパーク**」を実践していきます。また、東京2020大会のレガシーを継承しつつ、「**未来の東京**」の実現、「**世界から選ばれる都市**」づくりに貢献していきます。



「むさしのヘルシーパーク」による各公園の姿

武蔵野公園	武蔵野の原風景を守り育み、子どもたちの健やかな成長を地域全体で応援する公園	子ども達をはじめ、誰もが公園と親しみ、武蔵野の原風景に関する歴史や文化、生物多様性等について深く知ることを通じて、地域の誇りとなる公園を目指します。	
浅間山公園	協働型生物多様性保全のトップランナーとして、人づくりと森づくりが実践されている公園	産官学民のさまざまな主体が公園の目指す将来像に向かって保全活動に参画し、協働型生物多様性保全モデルとして、人づくり・森づくりに先進的に取組む公園を目指します。	
野川公園	国分寺崖線に関わる産官学民ネットワークの中核を担い、環境人材交流の拠点となる公園	身近な自然体験の場、健康づくりの場、また防災拠点として、地域の方々が安心して利用し、国分寺崖線の魅力を国内外のより多くの人と共有する公園を目指します。	
玉川上水緑道	デジタル技術の活用と地域連携で快適な水と緑のグリーンウェイを実現する公園	約30kmに渡る緑道を効率的かつ効果的に管理しながら、沿道地域のさまざまな魅力を緑道で繋ぎ、快適で魅力ある水と緑のグリーンウェイを目指します。	

武蔵 国分寺 公園	協働型パークマネジメント モデルを発展させ、新たな パークライフを提案する公 園	地域の「あったらいいな」からスタートする、さまざ まな都民提案型プロジェクトが展開し、安全・安 心な環境の中で、新たなパークライフが広がる公 園を目指します。	
六仙 公園	地域のコミュニティを再構 築し、防災と環境教育 の拠点となる公園	小学校跡地という特性を活かし、地域が一体と なり公園を中心とした地域防災力を高めるとと もに、自然環境を生かした学びの場となるよう、 防災と環境教育の拠点を目指します。	
東伏見 公園	周辺の公園と連携し、 地域に新たな活動と魅 力を生み出す公園	安全・安心で、身近に親しめる公園として、周 辺の公園緑地等と連携しながら、都民の「あ ったらいいな」を引き出し、新たな公園の魅力を生 み出す公園を目指します。	

3 私たちが持つノウハウの活用と各構成員の役割

私たちは、この11年間に武蔵野の公園グループの指定管理者として培ってきたノウハウやネットワークを基盤に、各構成員の持つ専門性や特性を活かし、安定した公園管理と多様なニーズに柔軟に対応していきます。《コンソーシアムの特徴と強み》

- 代表企業は東京都西部地域を地盤とするグループ企業であり、全国の多種多様な指定管理実績を踏まえた地域価値向上の視点によるトータルコーディネートを行うことができます。
- 行政と地域をつなぐ中間支援NPOが構成員となっており、官民連携・協働事業を強力に推進できます。
- 防災、健康をテーマとした事業活動を行う構成員により、現代の社会課題解決に迅速に対応できます。

- 東京都西部に地盤をもつ西武グループとして都民や社会へのより一層の貢献を目的に、地域との信頼関係を基に、グループ各施設の活用と官学民連携をもって公園の魅力向上を推進します。

- 全国64箇所、494公園(R4.6現在)の都市公園等の管理実績と、創業1951年から積み重ねてきた造園施工及び維持管理技術を活かし、質が高く、安定した総合的なマネジメントを提供します。

統括・造園
管理

全国ネット
ワーク活用

西武造園株式会社

- 多摩地域の環境NPO法人。設立25年を超える経験で培った「現場力」と「地域ネットワーク力」、「市民協働、環境保全、環境教育」の専門知識により、公園緑地を拠点に地域課題の解決に取り組んでいます。

- 「みどりの中間支援組織」として様々な主体との地域連携を強力に推進し、生物多様性の保全、自然体験・環境学習、ボランティア活動やイベントの活性化を図り、公園緑地の価値を向上します。

生物多様性
向上

環境教育

地域連携・
ボランティア支援

特定非営利活動法人NPObirth

安定した公園管理と、
多様なニーズに柔軟に対応できる
コンソーシアム

ミズノスポーツサービス株式会社

- ミズノグループのあらゆる知見を活かし、スポーツを通じ、遊びや楽しさ、感動を生み豊かで快適なスポーツライフを提供します。
- 東京2020大会のレガシーを継承し、人々がスポーツや健康のための多様な活動を通して、サステナブルに取り組んでいける社会の実現に貢献します。

地域スポーツ
振興

オリンピック
レガシー継承

一般社団法人防災教育普及協会

- 国内外での防災教育実践事例をもとに、地域と公園が一体となった災害に強いまちづくりのため、より効果的な防災対策の普及啓発に取り組めます。
- 防災・安全教育の専門的知見に基づく教育訓練プログラムを実施することにより、公園と地域の防災・安全を推進します。

防災学習
・訓練

防災ネット
ワーク化

(3) 指定管理者の責務

1 事業主体としての社会的責任の考え方

近年、事業活動が社会に与える影響が増大し、企業が社会的責任を果たすことが求められています。2015年9月の国連サミットで、気候変動や格差等の幅広い課題の解決を目指すSDGsが採択され、「誰一人取り残さない」持続可能でより良い社会の実現が、世界共通の課題となっています。

私たちは、このSDGsの理念や目標等は、産官学民連携による公園づくりそのものと捉えています。民間の事業主体として、**経済面、環境面、社会面の3つの視点による総合的な判断**から、SDGsの達成に向け、積極的に社会的責任を果たしていきます。

また、このような社会的責任を果たすことは、事業主体としての**社会的信頼性の向上**につながるとともに、多様なパートナーシップを生み出し、**新たな公園価値の創造を実現**するものと考えています。



2 具体的取組

① 都の事業・施策への協力・連携

私たちは、指定管理者の役割を理解し、**法令や条例に基づく適正な管理運営**を行うとともに、**都が政策目標達成のために実施する事業・施策**に積極的に協力、連携しながら対応していきます。また、大規模自然災害や危険性の高い感染症等の流行時においても、都の要請や都との協議により、**都民・利用者の安全を確保**する責任を果たしていきます。

② 障害者に対する社会的障壁の除去及び合理的な配慮

私たちは「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」を踏まえ、**障害者の権利利益を侵害することがないよう**、障害者に対する社会的障壁を除去していきます。また公園には、身体・知的・精神障害、難病等を原因とする障害者、高齢者や子ども等、多様な利用者が訪れます。そのため「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン」を踏まえ、**ソフトとハードの両面**から、公園利用における**「物理的」「心理的」「情報面」**のバリアフリーを推進します。

- ・施設の劣化や破損、植生の成長等で施設や設備の機能が阻害されることがないよう、適切な維持管理を行います。
- ・バリアフリー情報を適切に提供するため、窓口対応ガイドライン、バリアフリーマップや点字マップの充実等、円滑な利用に向けた広報・普及啓発活動を促進します。
- ・職員一人ひとりが施設の機能や個々のニーズを把握し、「心のバリアフリー」を体现するために、専門家・当事者によるユニバーサル研修の定期開催を継続します。(協力:ユニバーサルデザイン共同研究会、社会福祉協議会等)



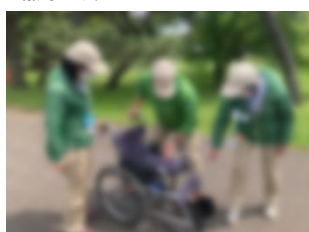
都立公園における水辺の再生事業への協力(野川公園のかいぼり)



バリアフリー改修事例



点字マップ



ユニバーサル研修

③障害者の雇用

現在、代表企業の西武造園株式会社は、障害者雇用を拡大するため、「障害のある人たちの差別偏見のない社会づくり」を理念としている、株式会社ゼネラルパートナーズと連携し、公園の管理運営が**障害者が自分らしい働き方で活躍**できる就労の選択肢となるよう、障害者雇用の可能性を広げる取組を始めています。

代表企業の障害者雇用
取組イメージ



④公の施設における不当な差別的言動の防止

私たちは、「**人権は誰もが尊重されるべきものであり、国籍や文化の違いを理解し合い、お互いを思いやる**」という精神を公園づくりに反映していきます。

ヘイトスピーチの蓋然性が高い場合や、それが起因で安全な利用に支障が想定される場合等、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」を踏まえ、**表現の自由その他日本国憲法の保障する自由と権利を不当に侵害することのないよう留意**しつつ、都と連携して使用制限を行う等、対応マニュアルを作成し、研修を実施して対応できる体制を構築します。

⑤事業活動に係る環境負荷の軽減

世界的な気象災害による被害発生への対応や、生物多様性の保全等が求められる中で、都は世界の大都市の責務として、平均気温の上昇を1.5℃に抑えることを追求し、2050年にCO2排出実質ゼロに貢献する「**ゼロエミッション東京**」を実現することを目指しています。私たちも、行動を加速化するため、**2030年カーボンハーフに寄与**するよう、環境負荷の軽減を進めます。

New

- ・災害時のエネルギー供給源となる、どこでも利用できるポータブル**太陽光発電**の導入

New

- ・園内巡回・管理車両のEV車等環境負荷低減車両への順次変更
- ・企業等との連携による**園内の資源循環、地域のサーキュラーエコノミー**の推進
- ・製品やサービスを購入する際には、**東京グリーン購入ガイド**に基づき、環境を考慮し、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選択
- ・管理事務所や施設における**省エネ、節水、ペーパーレス化の継続**
- ・ゴミの発生抑制に取組む2Rビジネス(量り売り、シェアリング、リユース容器等)を進める**事業者との連携**
- ・その他**東京都、地元自治体と連携した、環境負荷に関する取組**の推進

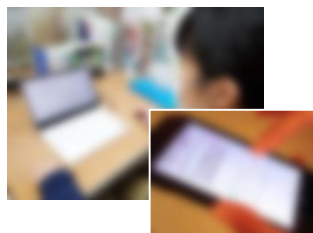
具体的取組



LED照明の設置



伐採木チップ化によるゴミの搬出量削減



Webを活用したボランティアとの情報共有(ペーパーレス化の推進)

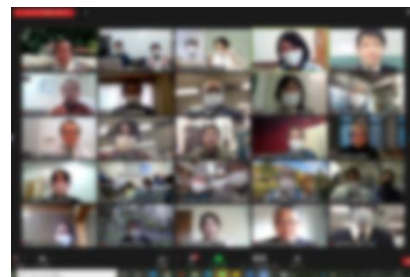


EV車への変更

⑥地域とのパートナーシップの構築

これまで私たちは、国分寺崖線沿いの緑地の保全活用を考える「**はけの自然とくらしのオンラインフォーラム**」の開催、公園に近接する**東京農工大学**(浅間山公園等)や**国際基督教大学**等の教育機関との連携を行い、地域課題の解決に向けて、地域と一体となった活動を行ってきました。

今後も、**地域の一員として**、地域価値向上のための協議会や交流会、情報交換会への参加など、様々な形で地域活動に貢献していきます。



はけの自然とくらしのオンラインフォーラム

2 人員配置計画等

(1) 人員配置計画

ア 総括表

(単位：人)

管理組織(公園名等)	雇用形態			備考
	常勤職員	非常勤職員	その他(具体的に)	
本社等	7	0		事業責任者、維持管理・安全担当、運営管理担当、防災担当、スポーツ担当、広報戦略担当、人事・経理・法務担当
武蔵野公園	5	9	運動施設の夜間受付業務 夏季等夜間巡回警備委託	
浅間山公園	0	0	夏季等夜間巡回警備委託	武蔵野公園に担当者を配置
野川公園	9	16	運動施設の夜間受付業務 夏季等夜間巡回警備委託	
玉川上水緑道	0	0		野川公園に担当者を配置
武蔵国分寺公園	5	8	夏季等夜間巡回警備委託	
六仙公園	1	3	夏季等夜間巡回警備委託	
東伏見公園	0	0	夏季等夜間巡回警備委託	野川公園に担当者を配置
計	27	36		

※各管理組織の雇用形態の内訳を記入してください。常勤とは週 40 時間程度勤務し貴団体が複数年にわたり雇用する職員とします。

非常勤職員は、パート、アルバイトなど臨時に契約する職員とします。

※「本社等」の欄には、貴団体の本社等統括組織に配置する公園管理に係る人員を記入してください。

※管理所のない公園については、備考欄にどのような体制をとるか記入してください。(○○公園管理所で対応、公園外に拠点を設置など)

イ 公園別内訳 【武蔵野公園】

	役職	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、実務経験年数等	雇用形態			一週間の勤務時間	備考
				常勤	非常勤	委託 （具体的に）		
管理 所 配 置 人 員	副統括所長 兼自然環境保全スタッフ	統括所長の補佐、自然環境調査・分析、希少種の保全、外来種防除、保全計画策定等	公園管理運営士、公園管理運営経験5年以上	○	—	—	40	
	所長	武蔵野公園の責任者、予算管理、東京都との連絡調整、渉外、総合調整	公園管理運営士、公園管理運営経験5年以上	○	—	—	40	
	副所長 兼維持管理担当	所長不在時の代行、維持管理、修繕(軽微なもの)、巡回、警備、利用指導、浅間山公園担当	公園管理運営経験者	○	—	—	40	
	総務兼広報担当	総務、見所の調査、情報収集・発信、広報・宣伝活動、利用者意見の収集分析	公園管理運営経験者	○	—	—	40	
	パークコーディネーター	ボランティアイベントや事業の企画調整・運営等	公園管理運営経験者	○	—	—	40	
	受付スタッフ	窓口対応、利用案内、一般事務等	類似業務経験者	○	—	—	32	
	受付スタッフ	窓口対応、利用案内、一般事務等	類似業務経験者	○	—	—	24	
	受付スタッフ	窓口対応、利用案内、一般事務等	類似業務経験者	○	—	—	24	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃・維持管理作業、浅間山公園維持管理他作業	類似業務経験者	○	—	—	24	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃・維持管理作業、浅間山公園維持管理他作業	類似業務経験者	○	—	—	24	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃・維持管理作業、浅間山公園維持管理他作業	類似業務経験者	○	—	—	24	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃・維持管理作業、浅間山公園維持管理他作業	類似業務経験者	○	—	—	24	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃・維持管理作業、浅間山公園維持管理他作業	類似業務経験者	○	—	—	24	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃・維持管理作業、浅間山公園維持管理他作業	類似業務経験者	○	—	—	24	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃・維持管理作業、浅間山公園維持管理他作業	類似業務経験者	○	—	—	24	
業 務 委 託	夜間受付業務等	運動施設の夜間受付業務等		—	—	○	21	4～10月
	警備委託	夏季等夜間巡回警備委託		—	—	○		夏休み 期間

※1枚1公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。

※職員一人ごとに記入してください。

※役職については、公園を管理運営するうえで必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入してください。

※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定のうえ記入してください。

※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。

※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入してください。

※本表とは別に職員のローテーション表を作成してください。（標準1か月分：様式任意）

【有料施設の時間外の施設利用への対応】

ナイター受付は委託

※該当施設があれば必ず記入してください

勤務ローテーション表 【武蔵野公園】

役職	日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1週間の勤務時間	備考
	曜日		土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
副施設所長 兼自然環境保全スタッフ	常勤		◎	○	○			◎	◎	◎	○	○			○	◎	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○		○	◎	◎	◎	○	40時間	
	常勤			◎	◎	◎	◎				◎	◎	◎	◎				◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎					◎	40時間	
副所長兼維持管理担当	常勤		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	40時間	
総務兼広報担当	常勤		○			○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	40時間	
パークコーディネーター	常勤		○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	40時間	
常勤職員出勤数			4	4	3	3	3	4	4	4	4	3	3	3	4	4	4	4	4	3	3	3	4	4	4	3	3	3	4	4	4	4		
受付スタッフ	非常勤			○	○	○	○			○	○	○	○	○				○	○	○	○		○	○	○	○	○	○				○	32時間	
受付スタッフ	非常勤						○	○	○				○	○	○	○					○	○	○				○	○	○				24時間	
受付スタッフ	非常勤		○	○				○	○	○	○					○	○	○					○	○					○	○	○	○	24時間	
維持管理スタッフ	非常勤		○	○	○	○				○	○	○	○					○	○	○			○	○	○	○						○	24時間	
維持管理スタッフ	非常勤		○	○	○	○	○				○	○	○	○	○					○	○	○			○	○	○	○					24時間	
維持管理スタッフ	非常勤					○	○	○					○	○	○	○						○	○	○				○	○	○			24時間	
維持管理スタッフ	非常勤		○					○	○	○					○	○	○						○	○					○	○	○		24時間	
維持管理スタッフ	非常勤		○	○					○	○					○	○	○						○	○					○	○	○		24時間	
維持管理スタッフ	非常勤		○	○					○	○					○	○	○						○	○					○	○	○		24時間	

◎ 公園の当日の責任者

イ 公園別内訳 【浅間山公園】

	役職	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、実務経験年数等	雇用形態				一週間の勤務時間	備考
				常勤	非常勤	委託	その他（具体的に）		
管理所配置人員		管理所がないため武蔵野公園に担当者を配置				—			
						—			
						—			
						—			
						—			
						—			
業務委託				—	—				

※1枚1公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。

※職員一人ごとに記入してください。

※役職については、公園を管理運営するうえで必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入してください。

※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定のうえ記入してください。

※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。

※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入してください。

※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。（標準1か月分：様式任意）

【有料施設の時間外の施設利用への対応】

※該当施設があれば必ず記入してください

イ 公園別内訳 【野川公園】

	役職	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、実務経験年数等	雇用形態				一週間の勤務時間	備考
				常勤	非常勤	委託	その他（具体的に）		
管理 所 配 置 人 員	統括所長	グループ公園の統括責任者、東京都との連絡調整、全体予算管理	公園管理運営士、公園管理運営経験5年以上	○	—	—	—	40	
	所長	野川公園の責任者、予算管理、東京都との連絡調整、渉外、総合調整	公園管理運営経験5年以上	○	—	—	—	40	
	副所長兼維持管理チーム	所長不在時の代行、維持管理、修繕(軽微なもの)、巡回、警備、利用指導、六仙公園・東伏見公園担当	公園管理運営経験3年以上	○	—	—	—	40	
	副所長 兼自然観察センター長 (パークレンジャー)	所長不在時の代行、各公園との情報交換、利用指導、自然ガイドや体験学習等の企画運営、自然情報発信（展示等）、自然観察センター担当	公園管理運営経験3年以上	○	—	—	—	40	
	総務兼広報・PDCA 担当	総務、見所の調査、情報収集・発信、広報・宣伝活動、利用者意見の収集分析、PDCA	公園管理運営経験者	○	—	—	—	40	
	スポーツコーディネーター	全公園のスポーツ教室・イベントの企画・運営、スポーツ施設運営関連情報交換	スポーツ施設運営経験3年以上	○	—	—	—	40	
	自然環境保全スタッフ	自然環境調査・分析、希少種の保全、外来種防除、保全計画策定等	公園管理運営経験者	○	—	—	—	40	
	パークコーディネーター	ボランティアコアネットワーク、地域連携・協働に関わるイベントや事業の企画調整・運営等	公園管理運営経験者	○	—	—	—	40	
	維持管理担当	維持管理、修繕(軽微なもの)、巡回、警備、利用指導、玉川上水緑道担当	公園管理運営経験者	○	—	—	—	40	
	受付スタッフ	窓口対応、利用案内、一般事務等	類似業務経験者		○	—	—	32	
	受付スタッフ	窓口対応、利用案内、一般事務等	類似業務経験者		○	—	—	32	
	受付スタッフ	窓口対応、利用案内、一般事務等	類似業務経験者		○	—	—	32	
	受付スタッフ	窓口対応、利用案内、一般事務等	類似業務経験者		○	—	—	32	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、維持管理作業、衛星公園・緑道維持管理他作業	類似業務経験者		○	—	—	32	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、維持管理作業、衛星公園・緑道維持管理他作業	類似業務経験者		○	—	—	32	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、維持管理作業、衛星公園・緑道維持管理他作業	類似業務経験者		○	—	—	32	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、維持管理作業、衛星公園・緑道維持管理他作業	類似業務経験者		○	—	—	32	

管 理 所 配 置 人 員	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃・維持管理作業、衛星公園・緑道維持管理他作業	類似業務経験者		○	—		32	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃・維持管理作業、衛星公園・緑道維持管理他作業	類似業務経験者		○	—		32	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃・維持管理作業、衛星公園・緑道維持管理他作業	類似業務経験者		○	—		32	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃・維持管理作業、衛星公園・緑道維持管理他作業	類似業務経験者		○	—		32	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃・維持管理作業、衛星公園・緑道維持管理他作業	類似業務経験者		○	—		32	
	自然観察センタースタッフ	窓口対応、利用案内、一般事務	類似業務経験者		○	—		8	
	自然観察センタースタッフ	窓口対応、利用案内、一般事務	類似業務経験者		○	—		8	
	自然観察センタースタッフ	窓口対応、利用案内、一般事務	類似業務経験者		○	—		8	
	夜間受付業務等	運動施設の夜間受付業務等		—	—	○		21	7～8月
	警備委託	夏季等夜間巡回警備委託		—	—	○			夏休み 期間

※1枚1公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。

※職員一人ごとに記入してください。

※役職については、公園を管理運営するうえで必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入してください。

※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定のうえ記入してください。

※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。

※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てて記入してください。

※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。（標準1か月分：様式任意）

【有料施設の時間外の施設利用への対応】

薄暮受付は委託

※該当施設があれば必ず記入してください

【野川公園】

役職	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1週間の勤務時間	備考		
	曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日				
統括所長	常勤	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	40時間			
	常勤	◎			◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎				◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎		40時間			
副所長兼維持管理チーフ	常勤		◎	◎	○	○	○		◎	◎	◎	○	○	○			◎	◎	◎	○	○	○		◎	◎	○	○	○			◎	40時間			
副所長兼自然観察センター長 (バーゲレンジャー)	常勤	○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			○	○	○	○	40時間			
総務兼広報・PDCA担当	常勤	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	40時間			
スポーツコーディネーター	常勤	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	40時間			
自然環境保全スタッフ	常勤			○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○		○	○	○	○	○				40時間			
パークコーディネーター	常勤	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			○	○	40時間			
維持管理担当	常勤	○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	40時間			
常勤職員出勤数		7	7	7	6	6	6	6	7	7	7	6	6	6	6	6	7	7	7	6	6	6	6	7	7	7	6	6	6	6	7	7			
受付スタッフ	非常勤	○	○	○	○				○	○	○	○				○	○	○	○	○			○	○	○	○					○	○	32時間		
受付スタッフ	非常勤			○	○	○	○				○	○	○	○				○	○	○	○	○			○	○	○	○					32時間		
受付スタッフ	非常勤	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○				○	○	○	○			○	○	○	○	○			32時間		
受付スタッフ	非常勤	○	○			○	○	○	○	○				○	○	○	○	○			○	○	○			○	○	○	○					32時間	
維持管理スタッフ	非常勤	○	○	○			○				○	○	○			○	○	○				○	○	○	○				○	○	○			32時間	
維持管理スタッフ	非常勤	○	○	○	○	○				○	○	○	○				○	○	○	○	○			○	○	○	○							32時間	
維持管理スタッフ	非常勤	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○						32時間	
維持管理スタッフ	非常勤				○	○	○	○			○	○	○	○	○				○	○	○	○			○	○	○	○						32時間	
維持管理スタッフ	非常勤	○	○	○			○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○			○	○	○	○						32時間	
維持管理スタッフ	非常勤	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○									32時間	
維持管理スタッフ	非常勤				○	○	○	○				○	○	○	○	○			○	○	○	○			○	○	○	○						32時間	
維持管理スタッフ	非常勤	○	○	○			○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○			○	○	○	○						32時間	
維持管理スタッフ	非常勤				○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○			○	○	○	○						32時間	
維持管理スタッフ	非常勤				○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○			○	○	○	○						32時間	
維持管理スタッフ	非常勤					○							○						○															8時間	
維持管理スタッフ	非常勤	○						○								○							○											8時間	
維持管理スタッフ	非常勤			○							○															○								8時間	
維持管理スタッフ	非常勤			○								○																						8時間	

◎ 公園の当日の責任者

イ 公園別内訳 【玉川上水緑道】

	役職	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、実務経験年数等	雇用形態				一週間の勤務時間	備考
				常勤	非常勤	委託	その他（具体的に）		
管理所配置人員		管理所がないため野川公園に担当者を配置				—			
						—			
						—			
						—			
						—			
						—			
委託業務				—	—				

※1 枚 1 公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。

※職員一人ごとに記入してください。

※役職については、公園を管理運営するうえで必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入してください。

※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定のうえ記入してください。

※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。

※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てて記入してください。

※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。（標準 1 か月分：様式任意）

【有料施設の時間外の施設利用への対応】

※該当施設があれば必ず記入してください

イ 公園別内訳 【武蔵国分寺公園】

	役職	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、実務経験年数等	雇用形態			一週間の勤務時間	備考
				常勤	非常勤	委託 その他 (具体的に)		
管理 所 配 置 人 員	副統括所長 兼パークコーディネーター	統括所長の補佐、各公園との情報交換、ボランティアコーディネート、地域連携・協働に関わるイベントや事業の企画調整・運営等	公園管理運営士、公園管理運営経験5年以上	○	—	—	40	
	所長兼総務担当	武蔵国分寺公園の責任者、予算管理、渉外、総合調整、総務	公園管理運営士、公園管理運営経験者	○	—	—	40	
	副所長 兼パークコーディネーター	所長補佐、各公園との情報交換、ボランティアコーディネート、地域連携・協働に関わるイベントや事業の企画調整・運営等	公園管理運営経験3年以上	○	—	—	40	
	維持管理兼 広報・PDCA 担当	維持管理、修繕(軽微なもの)、巡回、警備、利用指導、見所の調査、情報収集・発信、広報・宣伝活動、利用者意見の収集分析、PDCA	公園管理運営経験者	○	—	—	40	
	パークレンジャー	利用指導、自然ガイドや体験学習等の企画運営、自然情報発信(展示等)	公園管理運営経験者	○	—	—	40	
	受付スタッフ	窓口対応、利用案内、一般事務等	類似業務経験者	○	—	—	32	
	受付スタッフ	窓口対応、利用案内、一般事務等	類似業務経験者	○	—	—	24	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、維持管理作業、衛生公園維持管理他作業	類似業務経験者	○	—	—	24	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、維持管理作業、衛生公園維持管理他作業	類似業務経験者	○	—	—	24	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、維持管理作業、衛生公園維持管理他作業	類似業務経験者	○	—	—	24	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、維持管理作業、衛生公園維持管理他作業	類似業務経験者	○	—	—	24	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、維持管理作業、衛生公園維持管理他作業	類似業務経験者	○	—	—	24	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、維持管理作業、衛生公園維持管理他作業	類似業務経験者	○	—	—	24	
	維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、維持管理作業、衛生公園維持管理他作業	類似業務経験者	○	—	—	24	
委 託 務	警備委託	夏季等夜間巡回警備委託		—	—	○		夏休み 期間

※1枚1公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。

※職員一人ごとに記入してください。

※役職については、公園を管理運営するうえで必要と思われる役職(所長、警備員等)を記入してください。

※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定のうえ記入してください。

※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。

※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てて記入してください。

※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。(標準1か月分：様式任意)

【有料施設の時間外の施設利用への対応】

※該当施設があれば必ず記入してください

勤務ローテーション表 【武蔵国分寺公園】

役職	日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1週間の勤務時間	備考	
	曜日	曜	日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日			
副施設所長 兼パークコーディネーター	常勤	○				○	○	○	○				○	○	○	○	○	◎		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		40時間		
	常勤		◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	40時間		
副所長 兼パークコーディネーター	常勤	◎	○	○				○	◎	◎	○	○			○	◎	◎	○	○			○	◎	◎	○	○		○	◎	◎	○	○	40時間		
	常勤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	40時間		
パークレンジャー	常勤	○	○				○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	40時間		
	常勤職員出勤数		4	4	3	3	3	4	4	4	4	3	3	3	4	4	4	4	4	3	3	3	4	4	4	3	3	3	4	4	4	4			
受付スタッフ	非常勤				○	○	○	○				○	○	○	○				○	○	○	○	○		○	○	○	○	○				32時間		
受付スタッフ	非常勤	○	○					○	○	○						○	○	○					○	○					○	○	○	○	24時間		
維持管理スタッフ	非常勤		○	○	○					○	○	○	○					○	○	○	○			○	○	○						○	24時間		
維持管理スタッフ	非常勤			○	○	○					○	○	○	○					○	○	○	○			○	○	○						24時間		
維持管理スタッフ	非常勤				○	○	○					○	○	○	○					○	○	○				○	○	○					24時間		
維持管理スタッフ	非常勤					○	○	○	○						○	○											○	○	○					24時間	
維持管理スタッフ	非常勤	○	○					○	○	○						○	○	○						○	○								24時間		
維持管理スタッフ	非常勤	○	○	○						○	○	○						○	○														24時間		

◎ 公園の当日の責任者

イ 公園別内訳 【六仙公園】

	役職	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、実務経験年数等	雇用形態			一週間の勤務時間	備考
				常勤	非常勤	委託 その他 (具体的に)		
管理 所 配置 人員	維持管理担当	維持管理、修繕(軽微なもの)、巡回、警備、利用指導	公園管理運営経験者	○	—	—	40	
	管理人兼維持管理 スタッフ	巡回・点検、清掃・維持管理作業、衛星公園 維持管理他作業	類似業務経験者	—	○	—	24	
	管理人兼維持管理 スタッフ	巡回・点検、清掃・維持管理作業、衛星公園 維持管理他作業	類似業務経験者	—	○	—	24	
	管理人兼維持管理 スタッフ	巡回・点検、清掃・維持管理作業、衛星公園 維持管理他作業	類似業務経験者	—	○	—	24	
委 業 託 務	警備委託	夏季等夜間巡回警備委託		—	—	○		夏休み 期間

※1枚1公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。

※職員一人ごとに記入してください。

※役職については、公園を管理運営するうえで必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入してください。

※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定のうえ記入してください。

※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。

※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入してください。

※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。（標準1か月分：様式任意）

【有料施設の時間外の施設利用への対応】

※該当施設があれば必ず記入してください

勤務ローテーション表 【六仙公園】

役職	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1週間の勤務時間	備考
	曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
維持管理担当	常勤	○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	○	40時間	
常勤職員出勤数		1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1		
管理人兼維持管理スタッフ	非常勤	○			○	○			○			○	○			○			○	○						○	○			○		24時間	
管理人兼維持管理スタッフ	非常勤					○	○	○					○	○	○					○	○	○				○	○	○	○			24時間	
管理人兼維持管理スタッフ	非常勤		○	○	○					○	○	○					○	○	○					○	○	○					○	24時間	

◎ 公園の当日の責任者

イ 公園別内訳 【東伏見公園】

	役職	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、実務経歴年数等	雇用形態			一週間の勤務時間	備考
				常勤	非常勤	委託 その他 (具体的に)		
管理所配置人員		管理所がないため野川公園に担当者を配置				—		
						—		
						—		
						—		
委託業務	警備委託	夏季等夜間巡回警備委託		—	—	○		夏休み 期間

※1枚1公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。

※職員一人ごとに記入してください。

※役職については、公園を管理運営するうえで必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入してください。

※能力、資格、実務経歴等は実際に配置する予定職員を想定のうえ記入してください。

※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。

※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入してください。

※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。（標準1か月分：様式任意）

【有料施設の時間外の施設利用への対応】

※該当施設があれば必ず記入してください

1 適切な管理水準を確保するための基本的な考え方

- 統括管理所の設置による効率的効果的な指揮命令体制の構築
- 日常の報告連絡相談による、都、地元自治体、消防、警察等との綿密な連携体制確立
- 公園管理運営に携わる全員（管理所スタッフ、ボランティア、協力団体等）を対象とした緊急時対応訓練の実施
- 発災時、被災時の現地・本部一体となった安全確保と早期の施設機能の復旧
- 管理所のない公園には管理担当責任者を配した管理体制の構築

2 組織体制・指揮命令系統の具体的取組

[illegible]

- パートナーズを統括する「本部」を代表企業である西武造園(株)内に設置し、現地には統括管理所を野川公園に置き、下図のような役割分担で事業を執行します。
- 各管理所では、毎日の朝礼で、その日の出勤者による緊急連絡体制を確認します。
- 六仙公園、東伏見公園、玉川上水緑道、浅間山公園には、日々のスタッフにより巡回、点検を実施し、所管の管理所に情報を集約します。
- 協力団体と災害時の復旧に関する協定を締結し、発災時の体制を整えます。
- 野川公園管理所に緑道キーパーを配置し、緑道の管理運営に関する情報を一元管理します。

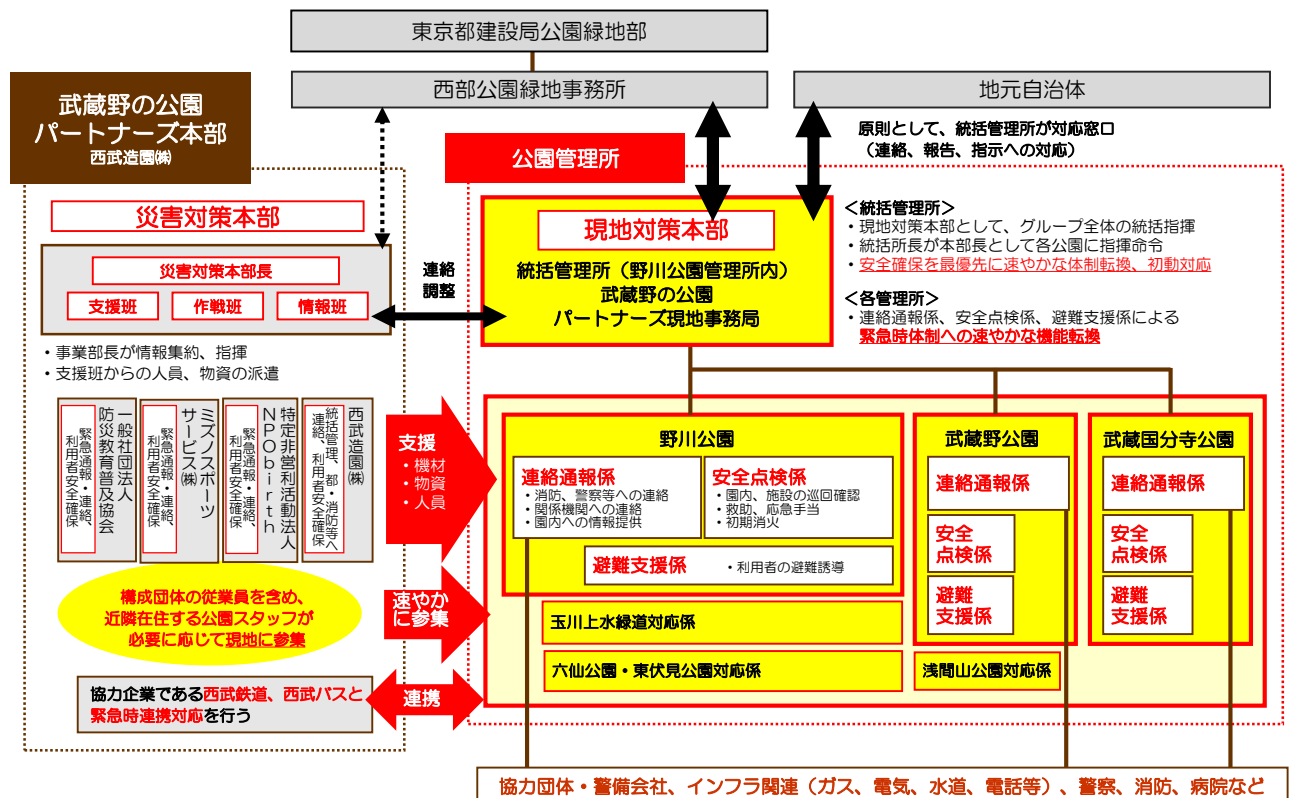


②夜間

- 夜間における組織体制、役割分担については、原則として平常時と同様の体制を整えます。
- 夜間に気象災害注意報や警報発令が予想されるときは、各管理所で状況に応じた「連絡体制」「待機態勢」をとります。
- 早朝・夜間に災害が発生した場合は、統括所長、および各公園所長の業務用携帯電話を通じて連絡を取り合うとともに、必要に応じて速やかに現地に参集します。利用者や地域住民の安全を確保するとともに、東京都・本部および関連機関との間で連絡・調整を行います。
- 桜花期や連続する施設損傷等、公園施設や周辺地域への迷惑行為が懸念される場合は、特別警備を行います。

③災害発生時

- 災害発生時には、下図のとおり、速やかな緊急時体制への転換を行います。パートナーズ本部には**災害対策本部**を設置し、**支援班・作戦班・情報班**を置きます。公園管理所には**現地対策本部(野川公園)**を設置し、各管理所には**連絡通報係、安全点検係、応急対応係、避難支援係**を置きます。
- 管理所のない公園については、管理担当責任者を選任して復旧に当たります。
- 各構成団体は、機材・物資・人員等、必要な支援を行います。
- ALSOK安否確認システムを用いて、各スタッフの状況確認を行います。
- 代表企業と西武鉄道、協力団体等のネットワークにより、**首都圏一円から資機材・人材等を投入**することで、公園内の安全・復旧活動を加速させる協力・支援体制を確立します。
- 近隣の西武グループ企業、西武鉄道・西武バス等の公共交通機関、協力団体等の関係機関とも連携・支援体制を整え、公園利用者に最寄り駅の運行状況の掲出等を行います。
- 夜間の被災を想定し、構成団体の従業員を含めて各管理所に最短で参集できる担当者(応援要員)を選任します。



- 気象災害の場合は「**気象災害対策計画書**」「**雪害対策計画書**」に基づき、また震災の場合は「**震災の手引き**」「**安全対策マニュアル**」に基づいて参集し業務を執行します。
- 初動対応として利用者の避難誘導・安全確保、園内・施設の点検を行い、迅速に東京都及び本部に報告します。また情報の集約と早期対応策を計画し、実行に移します。
- 被害があった場合は、立入や利用を禁止にする等、安全確保措置を最優先し、**二次被害の拡大を防止**します。
- 西武グループの**BCP(事業継続計画)**により、公園の早期復旧に向けたバックアップをします。

(3) 人材の確保と職員の技術・能力向上への取組

1

人員の確保、配置の方針

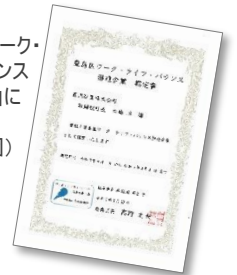
当パートナーズで働くスタッフは、各々が主体性を持って役割を果たし、管理運営に欠かせない**大切な「人財」**となっています。その**人財がさらに活躍し、よりよい公園の管理運営**に活かしていけるよう、人員体制を構築します。

- **人材確保** 現在のスタッフを中心に、年齢や性別等に関係なく、管理運営に必要なノウハウ、求められる資質等を持つ人材を確保。また、全体をトータルマネジメントできる経験豊富な人材を確保。
- **人材配置** 個々の能力やチームバランスを考慮し、適材適所を実施。
- **人材育成** 公園管理に必要な基礎的、専門的技術や能力のレベルの向上、継続的なモチベーションの向上に繋がる取組を実施。
- **労務環境** 働きやすさや生きがい等、個々の能力やライフステージに応じた、柔軟な配置・働き方のできる環境を整備。



管理事務所の受付風景

「豊島区ワーク・ライフ・バランス推進企業」に認定
(西武造園)

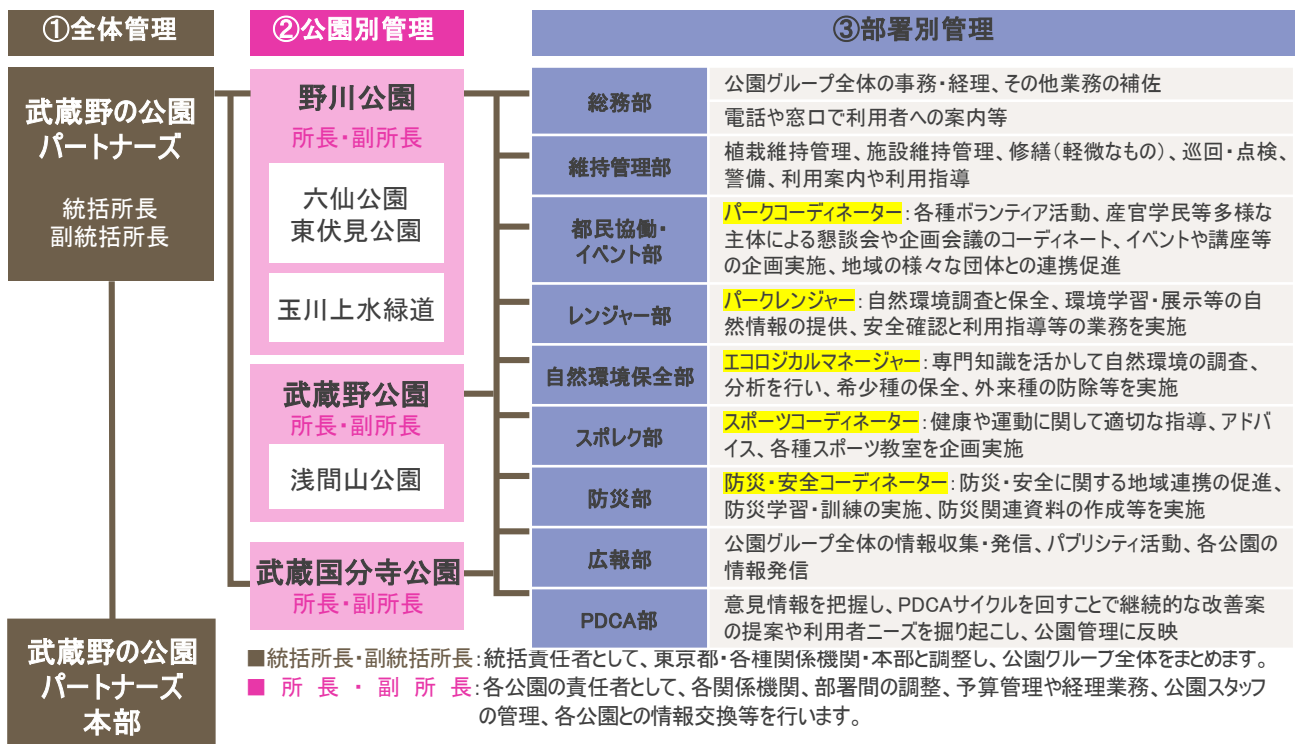


2

人員確保・配置及び業務執行体制

当公園グループを効率的かつ効果的に管理するため、全ての公園を統括する「**①全体管理**」、公園毎に正確に、確実に管理する「**②公園別管理**」、部署毎に専門性を発揮する「**③部署別管理**」の3つの管理体制によって業務を実施し、「**公園管理運営士**」等の有資格者をはじめ、各部署の業務内容に適した**専門的なスキル**、「造園施工管理技士」、「自然再生士」等の**有資格者**等を配置します。

これらの人員体制によって業務を執行するにあたり、管理系統や部署を跨いだ情報共有、相談・検討を進めるための定期的なミーティング等を実施し、**臨機応変な対応ができる体制を構築**します。



事業計画の作成、予算管理、事業執行の決裁、全体の管理水準、履行状況の確認、東京都・関連機関との協定・委託料等に関する連絡調整、安全・品質・コスト・労務管理、広報、繁忙期・緊急時支援等

広報戦略担当

公園の魅力向上や利用促進を効果的に高めるため、グループ全体の事業を踏まえ、公園と地域・人を結びつける戦略的な広報を担当

DX推進担当

指定管理業務全般におけるDXを促進させるため、多様な企業と連携し、公園での最先端テクノロジー活用の可能性を発掘、展開を担当

DX

ランドスケープマネージャー

公園の風景づくりや安全管理、アメニティ・ユニバーサルデザイン等の専門知識をもち、各公園の点検、技術指導等を担当

リソースマネージャー

水と緑のネットワークを形成する自然環境、公園周辺の歴史文化資源の魅力を最大限発揮するための企画・プランニングを担当

3 職員の技術・能力向上の取組

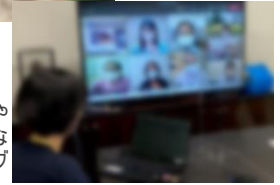
定期的な研修や視察、OJT等により、全スタッフに徹底した教育を行い、公園管理運営に必要な知識・技術の向上を図ります。特に**防災・安全管理**、多様な障害者を想定した**ユニバーサル接遇**をはじめと、様々なタスクをこなせるように力を入れます。

また、協力会社等、公園管理運営に携わる団体・個人が情報や技術を共有できる機会として、**定期的な会議や研修**を積極的に行います。



サクラの専門家を招いた内部研修

ONLINEで集まりやすくなったみんなカフェミーティング



① スタッフ研修	スタッフの基礎知識・技術の習得 (全スタッフ対象)	接遇、個人情報保護、普通救命技能研修(心肺蘇生法及びAED)、緊急時対応、ユニバーサル研修、コンプライアンス研修、防災無線訓練等、基礎技術研修を定期的実施。構成員である(一社)防災教育普及協会のノウハウを活かした防災に関する学習会、園内の自然環境・歴史や地域の基本情報についての研修等を実施。
	導入研修の実施 (新規スタッフ対象)	新規に採用したスタッフについては、当パートナーズが目指すビジョンや、公の施設の管理運営に求められる知識やスキルが身に付く研修を実施。
	専門的技術向上のための人材育成 (各部署常駐スタッフ対象)	外部講習やシンポジウムへの参加、国内外先進事例の視察、ワークショップ形式でのスキルアップを実施。内容としては、パークマネジメント、維持管理・安全管理、動植物保全・生物多様性、インタープリテーション、ボランティアコーディネーション、広報、公金研修等(各部署ごとに年1回以上)。各種資格の取得を推奨。
	OJTによる人材育成	日常業務の中で円滑かつきめ細やかな研修業務を遂行するため、OJTを実施。特に新人スタッフには、基本的なパソコン操作の研修やパートナーズの管理運営方針の確認等の研修を実施(随時)
② 情報・技術の共有化等	本部会議	構成団体の責任者が参加(月1回)。履行状況や事業内容の確認、課題への対策、スタッフ能力向上の取組等について話し合う。目標達成のための戦略的な意見交換を行う。
	スタッフミーティング	《全体ミーティング》 公園全体のビジョンの確認、日常の管理運営における問題点を話し合う。 《チーフ会議》 各部署の責任者による事業執行管理、企画立案および情報交換。 《朝礼、終礼》 管理所毎に朝礼、終礼を実施し、日々の管理運営に関して情報共有を行う。
	協力会社等との情報共有	維持管理を担う協力会社のスタッフも、自分自身及び利用者への安全管理や接遇に関する情報を、日々の朝礼時及び安全会議を設けて共有。普通救命技能研修を協力会社にも実施。
	各種マニュアルの整備	これまでの指定管理実績等から培ったノウハウを踏まえ、独自の各種マニュアルを作成し、協力会社等を含めた全スタッフが習得する。 【パートナーズで整備しているマニュアル】 安全対策、接遇、ユニバーサルデザイン、個人情報保護、植栽管理、トイレ清掃基準、委託業者入場、災害時初動、規制帯設置、イベント運営ほか
③ 自己研鑽	自主学習機会の提供	公園管理に関するテーマごとに希望者が集まって意見交換する「みんなカフェミーティング」を開催。西武グループが整備している、ITを活用したスキルをいつでも、誰もが、好きな時間に学習できる「ITあゆむ」、「ITまなぶ」により、公園管理に必要なIT技術を自己研鑽できるオンラインの学習機会を提供。
	モチベーション向上	公園や緑地に関するコンクールの応募、学会への論文投稿、社内コンクールの実施等、公園管理で培った技術や知見を社内外に積極的に発信。
	自己研鑽の支援	個々の意欲やレベルに応じて自己研鑽をさらに進めるよう、資格取得のバックアップを行う。

DX

4 労務環境の向上

都民への良質なサービスを提供するためには、良好な労働環境を整え、スタッフが心身ともに充実した状態で働くことが必要です。私たちは、**各構成員ごと**に働きやすさや生きがい等、個々の能力やライフステージに応じた、柔軟な配置・働き方のできる労務環境を整備しておりますが、下記の取組により、**コンソーシアムとしての良好な労務環境を確保**していきます。



感染対策をしたミーティング

- 各構成員の就業規則に基づき、個々のスタッフの労働時間や休暇や休日の取得状況等を把握し、労働基準法を遵守します。
- 過度に労働状況の悪化が懸念される場合は、パートナーズ内で協力体制を構築し、改善を図ります。
- 本部会議等で解決しない課題については、「企業倫理ホットライン」を設けており、必要に応じて従業員が専門家の助言・支援を受けられる環境を整えています。

3. 運営管理計画

(1) 都立公園の管理運営についての実施方針と具体的取組

1 新たな時代のニーズに応じた管理運営の実施方針

これまで私たちは、時代の変化や利用者ニーズに応じた管理運営を実践してきました。しかし、急速なデジタル技術の普及、利用者の志向や生活様式の変化、感染症の拡大等に対し、より迅速で臨機応変な社会課題の解決、利用者のニーズや満足への対応が求められています。

そこでこれまでの**管理運営の品質を維持**しながらも、「未来の東京戦略」に示されている4つの基本戦略①**バックキャストの視点**で将来を展望し、②**多様な主体**と協働して事業を推進、③**DXで運営管理の効率化**を図り、④**変化に弾力的なアジャイル対応**に基づき、ニーズに柔軟かつスピーディーに対応する管理運営を実施します。

2 環境の変化や新たなニーズに応えるための具体的な取組

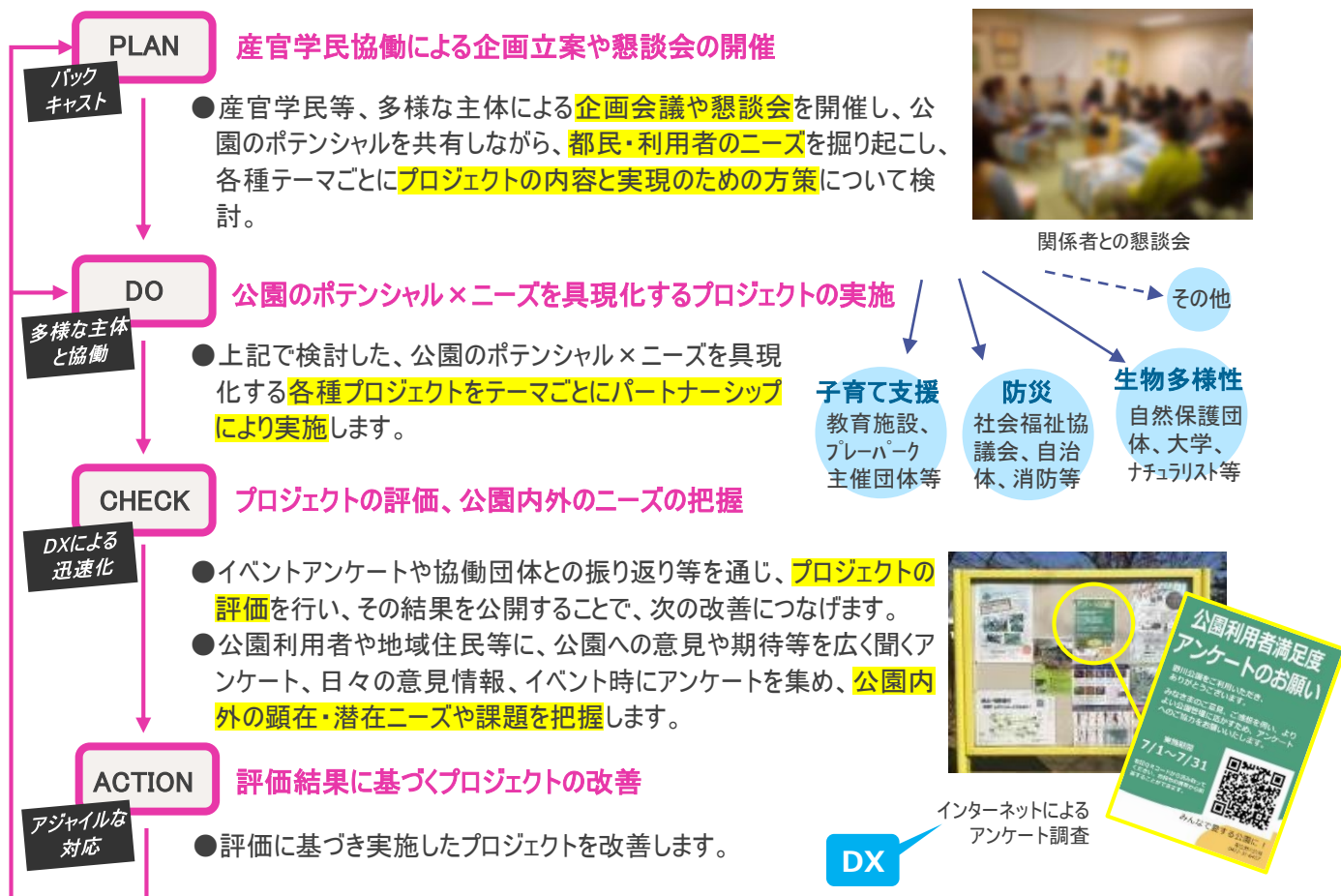
地域社会との交流、産官学民との協働による意見交換、インターネットによるアンケート調査、公園に寄せられる苦情要望を通じて、都立公園を取り巻く環境変化や都民ニーズ、社会課題をスピーディーに把握し、管理運営計画を作成、実施。利用者アンケートにより、スピーディーに事業を評価し、改善を加えるPDCAサイクルで事業を実施します。

①公園のポテンシャル分析の見直し

- 都立公園に解決を期待される社会課題、都民ニーズを客観的に把握するために、**東京都のパークマネジメントプラン**に基づき、**公園特性**(上位計画、立地特性、利用状況、課題等)と**地域特性**(自然、歴史文化、施設、活動団体等)の公園のポテンシャル分析を見直します。



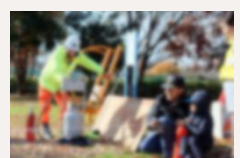
②公園のポテンシャル×ニーズを迅速に管理運営に反映する、PDCAサイクルの推進



3

公園特性、利用特性を踏まえた公園別管理運営の実施方針

私たちは、公園の性格や立地条件、利用者の特性を踏まえ、心身の健康、地域コミュニティの健康、地域環境の健康の、3つのヘルシーの実現に向けて、具体的に取り組む「むさしのヘルシーパーク・プロジェクト」を、以下の実施方針に基づき、管理運営を進めます。

公園名	「むさしのヘルシーパーク・プロジェクト」の各公園の実施方針	
武蔵野公園	武蔵野の原風景を守り育み、子どもたちの健やかな成長を地域全体で応援する公園 ● 武蔵野の原風景に関する歴史、文化、生物多様性について伝える「むさしのカレッジ」を開催する。 ● 地域活動が盛んな特性を踏まえ、地域の方々を講師としたプログラムを展開し、地域の誇りを育む。 ● 子ども達を見守り成長を促すための、総合スポーツイベント「チャレンジキャラバン」やキッズレンジャースクール等の子ども向けイベントを実施する。	 むさしのカレッジ
浅間山公園	協働型生物多様性保全のトップランナーとして、人づくりと森づくりが実践されている公園 ● 産官学民協力のもと保全管理ガイドラインを改定し、公園の新たな将来像を明確化する。その上で、浅間山を考える会を定期開催し、参加者とともに協働型生物多様性保全を実践する。 ● 子どもたちをはじめ地域住民が参加する浅間山育成プログラム(森キッズ)を実施し、森づくりを地域全体の活動へと広げる。	 「浅間山を考える会」の 現地確認会
野川公園	国分寺崖線に関わる産官学民ネットワークの中核を担い、環境人材交流の拠点となる公園 ● リニューアルする自然観察センターを国分寺崖線のネットワーク拠点とし、多様な協力者を集めて協議会を開催する。 ● 国内外の利用者にわかりやすく国分寺崖線やその周辺の生物多様性の魅力を紹介する展示や企画を大学等との連携で実施する。 ● スポーツコーディネーターによる多彩なヘルシープログラムを展開する。	 協議会の開催
玉川上水緑道	デジタル技術と地域連携で快適な水と緑のグリーンウェイを実現する公園 ● 玉川上水緑道保全活用ガイドラインをもとに、パークモニタリングシステム等のデジタル技術を駆使した緑道管理(※4(1)適切な維持管理へ)を行う。 ● アプリで蓄積した情報を玉川上水の所有管理に関わる連携団体と共有し、より効率的で快適性を高める公園運営手法を実践する。	 連携によるナラ枯れ対策
武蔵国分寺公園	協働型パークマネジメントを発展させ、新たなパークライフを提案する公園 ● 「あったらいいなをみんなで作る公園プロジェクト」による地域参加型の企画実現の仕組みにより、常に新たなパークライフを提案し続ける。 ● 企業、学校、福祉団体等多様なボランティアニーズを把握し、ボランティア活動につなげる等、協働型パークマネジメントモデルを発展させる。	 地域と連携した 週末カフェイベント
六仙公園	地域のコミュニティを再構築し、防災と環境教育の拠点となる公園 ● 地域連携による防災協議会を定期開催し、防災イベントを実施する等地域防災の拠点としての役割を担う。 ● 水と緑に恵まれた公園特性を生かし、パークレンジャーによる子どもたちの環境教育プログラムを展開する。	 防災イベントの開催
東伏見公園	周辺の公園と連携し、地域に新たな活動と魅力を生み出す公園 ● 西東京市、市立公園、企業、自治体等と連携し、新たな「あったらいいなをみんなで作る公園プロジェクト」を実現する。 ● 地域コミュニティと連携したマナーアップキャンペーンにより、公園利用者の快適性を高める取組を行う。	 マナーアップキャンペーン

(2) 質の高いサービスを提供するための具体的な取組

1 質の高いサービス提供の考え方

当公園グループの公園特性を踏まえ、これまでの取組を継承発展させるとともに、デジタル化の普及、ライフスタイルの多様化等、時代の変化に対応したプログラムやサービスを展開し、公園の利用促進・活性化、サービス水準の向上につなげてきます。

DX

デジタル技術を使ったサービス向上の取組

2 利用促進のための取組

公園からの発信と、地域ぐるみの発信で、より多くの人に公園の魅力を伝え、利用促進を進めます。

■地域ぐるみの魅力発信：公園を拠点とした効果的な地域活性化、利用促進を図る取組

New

①公園の広報・ブランディング強化を図る「Park Branding Labo」の設置

今までの概念にとらわれないより幅の広いターゲットに、公園の情報や魅力が伝わり、新たな利用促進につなげるため、**多摩地域に密着したローカルメディア**と連携し、公園や地域にあった広報やブランディングを推進する「Park Branding Labo」(パークブランディングラボ)を設置します。

- **定期的な企画会議**を実施し、ウェブサイトやSNS等の戦略的な広報、ブランディング強化の新規事業等を展開します。
- 「公園をフィールドに何かやってみてみたい！」方々を招き、気軽にディスカッションする「Park Branding Labo - Open day (仮)」を実施。公園での利活用や課題解決について意見交換を行い、**新たな利用促進やサービス向上につながるプロジェクトを生み出す場**を創出します。具体化は「あったらいいなをみんなでつくる公園プロジェクト」により実現します。③3(4) 都民協働へ



■公園からの魅力発信：効果的な情報発信や、充実したサービスにより利用促進を図る取組

②ターゲットを想定した情報ツールによる情報発信

世代、障害、国籍等、情報の受取手やイベントのターゲットを想定し、それぞれがアクセスしやすい方法で多くの人に公園の情報や魅力を伝達できるよう、情報ツールの活用・改良を進めます。

- 誰もが正確な情報が得られる、**ホームページ**(多言語化、視覚弱者、スマホ対応等)
- 旬な公園の様子やイベント情報をタイムリーに伝える**SNS**
- IT弱者にも対応できる、近隣施設や公共施設等で**配布する紙媒体**(パンフレット、イベントチラシ等)
- **動画**による公園の魅力発信(Youtube等)
- **多様なメディアを活用**した魅力発信(西武鉄道を中心とした公共交通機関、地域誌、FM等のローカルメディア、自治体広報、TV・雑誌等のマスメディア等)
- **インバウンド回復に向けた取組**(パンフレット等の多言語化、インバウンドを対象としたwebメディア連携等)

DX

③多様なサービスを提供する、来園しやすい拠点づくり

管理事務所をアメニティ、ホスピタリティ、ユニバーサルサービスの拠点として、**誰もが気軽に来園しやすいサービス**を提供します。

- 高齢者・障害者向け: 筆談サービス、車いすの貸出、遠隔手話サービス等
- 観光客向け: 地域情報コーナー等
- 親子向け: 授乳やおむつ替えコーナーの設置、遊具レンタル等

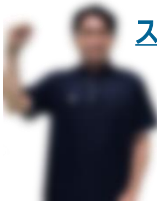
New

DX



3 サービス水準向上の取組

①常駐の専門スタッフによる、迅速なニーズへの対応



スポーツコーディネーターによるヘルシーパークの推進

スポーツコーディネーターによる、楽しく、健康に、を実現するプログラムを展開します。

- あらゆる世代に届ける、**心身のヘルシープログラム**
- 障害者スポーツ体験プログラム(ブラインドサッカー等)の開催



障害者スポーツの体験プログラム(ブラインドサッカー)

パークレンジャーによる自然学習の場の提供



DX 自然や生態に詳しいレンジャーによる、環境学習の場を拡充します。

- 個々を楽しむ**セルフガイド**(デジタル化)、レンジャーと回る**ガイドツアー**

DX ●家でも、ガイドを楽しめる**動画配信プログラム**の実施

DX ●**ドローン技術**を活用した、新しい視点のガイドウォークの動画配信

New



英語で解説するレンジャーによるガイドウォーク

パークコーディネーターによる武蔵野の暮らしと文化の学びと体験の場



パークコーディネーターによる、武蔵野地域がもっと好きになる、暮らしを豊かにするヒントの詰まったプログラムを実施します。

- 暮らしと自然をつなぐ**むさしのカレッジ**の開催
- まち歩き**の開催(ディスカバリーツアー等)



パークコーディネーターが企画運営するむさしのカレッジ

各専門家による親子と子どものためのサービス・プログラムの拡充



子ども達の健全な育成を公園全体で応援していきます。

- 子どもの成長**を応援するプログラム(キッズレンジャー、キッズスポーツ等)
- 親子で楽しむ**プログラム(あそブンの森、森キッズDAY等)



親子で楽しむあそブンの森

②安全で快適な利用を支える体制・環境の拡充

- 法令遵守による維持管理を基本に、**防災コーディネーターの知見**に基づく対策等、誰もが**安全・安心**に利用できる体制を構築します。
- 誰もが気持ちよく利用できるよう、トイレ等の**施設の清潔感を確保**します。
- 子ども連れで安心して利用できるサービスを整えます。
- コミュニケーション型利用指導により、誰もが快適な利用環境を確保します。

DX

- 各種**イベント等の申込のデジタル化**により利便性を向上します。
- 誰もが気軽に来園してもらえるよう、段差の解消、看板等の多言語化等、**ハード面のバリアフリーを進める**とともに、車椅子の貸出、窓口で多言語に対応できる翻訳機の設置、個々の障害に応じた対応等、より**きめ細やかなユニバーサルな対応**を拡充していきます。



防災コーディネーターによる研修



ピクトグラムで表記した看板の設置

4 集合型イベントを実施できなくなった場合の代替の取組

- 集合型のイベントを開催することができなくなった場合に備え、各イベントにおいて、**延期**、**分散**、**非接触化**等への変更をあらかじめ設定し、参加者に周知します。

DX

- オンライン配信に関しては、現場に必要な機材等を準備し、日常的にリアルとオンラインの同時開催のプログラムを実施して**スタッフによる配信技術**を磨きます。

DX

- 感染症等の流行に備え、通常のイベント開催においても**オンライン予約**、**キャッシュレス決済**等非接触化を進めます。

集合型イベントができなくなった場合

延期

開催日程を変更

分散

一度に集まる人数を制限
・日程分散
・時間分散
・複数会場等

非接触化

集合しない形式に変更
・オンライン配信
・セルフ参加型等

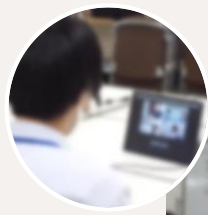
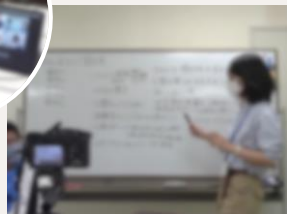
1 基本的な考え方

2 利用者要望の取扱いの仕組み



3 利用者の苦情・要望の反映事例

全ての利用者に対して誠実で平等な対応を行います。基本的には、①相手の意見をよく聴き**事実を確認**する、②よく**話し合う**、③公園の運営に**反映する**(必要に応じて広く意見交換を実施)の3つの手順によって対応します。意見の内、特に“苦情”については、「公園を改善する良い機会」であると捉え、相手の話をよく聞いた上で、公園の理念や方針をわかりやすく説明し、**相互理解を進めます**。合意が得られない場合は、**様々な人との意見交換**により、解決策を検討していきます。

テーマ	接道部の植栽について	コロナ禍での公園の楽しみ方について
利用者からの意見	「公園から緑道に子どもが飛び出して危ないので対応してほしい」との要望。	コロナ禍により、「公園に人が集まらないようにすべき」とのご意見。
課題	人の通り抜けにより植栽帯の一部が踏み固められ、生垣の連続性が分断されていた。	感染症対策が求められる一方で、「屋外の公園なのだから、もっと楽しめる企画を開催してほしい」との意見も見られ、様々な価値観の意見が寄せられていた。
取組の内容	①維持管理部による現地調査にて、飛び出しの危険性を把握。パークモニタリングシステムにて、現場でこれまでの管理履歴や意見情報を把握。 パクモニを使った現地把握  ②周辺の状況を加味しながら、事故防止対策として植栽による対応を検討。 ③道路に飛び出しにくいよう低木を列植。既存の低木を剪定して見通しを確保。     実施前 実施後	①公園から利用者に呼びかけ、「Withコロナミーティング」をオンラインで開催。  オンラインミーティングの開催  ②コロナ禍の地域を元気にするために公園はどんな役割を果たすべきなのか、今、どんな活動が求められているのか等を意見交換。 ③公園に来た人が密にならずに楽しめる展示企画やウォーキングルートの紹介等の企画を実現。  実現したイベント 「青空ワークショップ&屋台ギャラリー」の様子
成果	密集した生垣にしたことで、通り抜けにくい環境を整備。全体的に見通しも良くなり、 安全性と景観が向上 。	感染症対策を徹底しながら、市民の多様な意見を取り入れ、 コロナ禍でも満足度の高い企画を実現 できた。

(4) 都民協働や地域コミュニティとの連携による公園の魅力や地域の価値の向上につながる取組

1 基本的な考え方

私たちはこれまで、東京都の上位計画等をふまえ、広域的な視点を持って公園の管理運営にあたり、**多様な主体との協働による自然保全や活用**、さらに**公園と地域が一体となって、広域的な保全活用や観光振興**等に取り組め、大きな成果をあげてきました。

今後も公園を軸に地域の価値を高める取組を推進するため、都民や地域との連携による公園づくりを進める**専門スタッフ「パークコーディネーター」**が、これまで築いてきた協働・連携の実績や武蔵野地域に関わる方々との広域的な連携を継承・発展させ、**人・自然・まちが元気になる公園「むさしのヘルシーパーク」**に取り組めます。



パークコーディネーターの役割

- 協働・連携事業における課題の抽出と解決策の提案
- 新たな協働・連携主体の掘り出し
- 公園や地域の価値を高める企画・提案等
- 公園に関わる多様な団体・都民との関係づくりや活動の活性化

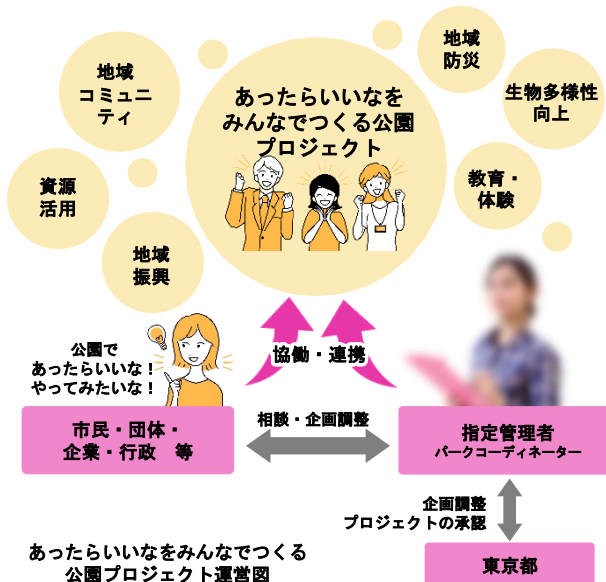
地元お父さんグループと連携した「ピクニックヘヴン」(武蔵野分寺公園)

2 具体的取組

①むさしのヘルシーパークを地域と共に実現する「あったらいいなをみんなでつくる公園プロジェクト」

地域市民や団体、企業等が公園をフィールドに「あったらいいな」「やってみたい」と企画したイベントや事業を共に考え、**協働・連携で実現する「あったらいいなをみんなでつくる公園プロジェクト」**を実施します。

地域団体や行政等と連携したイベントや企業等と連携した社会実験等、公園の利活用を推進し、公園・地域の魅力向上や価値を高める様々な事業を通じて、管理運営の基本理念でもある**「むさしのヘルシーパーク」**を公園に関わる様々な方々と共に実現・実践します。



プロジェクト事例



音楽関係団体と連携
ウクレレ&ハワイイベント「うくフェス」



地元お母さんグループと連携
親子遊びイベント「ぶっぴんフェス」



農家や店舗と連携
地場産物PRイベント「麦の収穫祭」



地元飲食店と連携
週末カフェ「Sunday Park Cafe」



地元クラフト作家グループと連携
アート&マルシェ「てのわ市」



小商いグループと連携
マルシェ「はけのいい朝市」



地元作家グループと連携
屋外アート展示イベント
「てのわ森の中美術館」



子育て応援団体と連携
自然遊びイベント
「お散歩ビンゴで秋をみつけよう」

②産官学民連携による取組の拡充

すでに公園で活躍している様々なボランティア団体や地元団体等については、パークコーディネーターが中心となり、より充実した活動になるよう継続的に協働・連携します。さらに、一般来園者、各種学校、企業、市民団体、福祉関係団体、外国人等、多様な主体のボランティアニーズを受け止め、パートナーシップを拡充します。

●産との連携

地元企業のボランティア活動、CSR活動の受入れや技術協力、防災イベントへの参画・連携、ベンチャー企業による社会実験の受入れ等、様々な形による企業連携を拡充します。

●官との連携

地元自治体と連携して、武蔵野地域の魅力や環境の向上、地域防災力を高めるため、様々なイベントの開催や防災訓練、勉強会等を実施します。

●学との連携

近隣学校の総合学習や職場体験の受入れからボランティア体験、人材育成プログラム、大学の研究室との専門的な活動との協働等、それぞれのニーズに応じて多様な連携を推進します。

●民との連携

多世代のボランティアや福祉施設などが、樹林地や公園の手入れ活動、花壇づくり等を展開しており、これらの既存の活動の活性化を進めます。また、多様なライフスタイルによるボランティアニーズを踏まえ、「ちよいぽう」等の多様な都民が気軽に参加できる仕組みを拡充します。

③多様な主体との協働・意見交換の場の創出

地域との協働・連携による公園づくりを推進するため、公園の特性や地域課題等に合わせた会議体をパークコーディネーターが企画・運営します。

- ・ 多様な主体が参加できるテーマ別懇談会の企画運営
- ・ 公園に関わる多様な主体が委員として参加する協議会の企画運営
- ・ 広域的な連絡会や実行委員会などのエリアの情報共有や地域の課題解決を目的とした取組への参画や企画運営
- ・ パークブランディングLaboを通じた意見交換の場の創出。③3(2)質の高いサービスへ

New

④地域連携による公園・地域の魅力を高める取組の推進

自治体をはじめ、地域の様々な主体とともに公園や地域の魅力を高める取組を実施します。

●地域の多様な団体と連携したイベントの開催

- ・ まちの魅力再発見イベント「ぶんぶんうおーく」(武蔵国分寺公園)
国分寺市内全域で実施している地域活性イベント。公園が実行委員会メンバーとして企画を牽引することで、地域コミュニティを育みます。
- ・ 武蔵野地域の20施設が連携する「森の地図スタンプラリー」(全公園)
国土交通省「ガーデンツーリズム登録制度」に登録された武蔵野エリアの魅力を広く発信するスタンプラリーイベントを実行委員会メンバーとして推進します。
- ・ 地域の防災力を高める「防災キャラバン」(六仙公園)
公園が地域コミュニティの核として機能することで、地域の防災力を高める防災イベントを実現します。

●都市公園150周年事業・各公園のアニバーサリーイベント開催



企業CSR活動で外来種の選別的除草(浅間山公園)



市と連携した総合防災訓練(六仙公園)



高校と連携したジュニアレンジャースクール(武蔵野公園)



気軽に体験できるちよいぽうWEEKs(武蔵国分寺公園)



17団体が参加したテーマ別懇談会(武蔵野公園)



浅間山を考える会の現地確認会(浅間山公園)



地域の価値向上につながる「ぶんぶんうおーく」(武蔵国分寺公園)



森の地図スタンプラリーイベント(野川公園)

(5) 公園の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の提案

1 基本的な考え方

自主事業は、指定管理料以外の財源を活用し、公園の魅力や新たな利用者サービスの提供を図るための事業であり、私たちは、**多様な主体と連携**しながら、公の施設として公園にふさわしい事業を、**東京都と協議し、魅力ある公園づくり**を進めます。

2 資金調達方法と公園への還元等

自主事業の費用は、イベント参加費等利用者から徴収するほか、ケータリングカーやCSR活動等の企業協賛や出店費、自動販売機や物販等の収益、都立公園サポーター基金、代表企業の事業費等を原資として実施します。これらの自主事業で得られた収益は、利用者サービスの提供やボランティア活動費等に還元します。

自動販売機やケータリングカーによる出店費等については、得られた収益の一部を公園の管理運営に**還元することを明記**し、利用者への理解を図ります。

資金調達の方法

- ・自動販売機、物販収入
- ・てぶらBBQ運営収入
- ・ケータリングカー出店費
- ・イベント参加費
- ・企業協賛
- ・CSR・サポーター基金
- ・代表企業の事業費 等

自主事業の実施

収益還元

- ・イベント・プロジェクトの実施
- ・チラシ・パンフレットの印刷
- ・ボランティア活動
- ・施設の補修・修繕
- ・ノベルティグッズ製作 等



ボランティア活動の物品購入



富士見百景看板の設置

3 事業内容と期待できる効果

凡例

全: 全公園、武: 武蔵野公園、浅: 浅間山公園、野: 野川公園
玉: 玉川上水緑道、国: 武蔵国分寺公園、六: 六仙公園、東: 東伏見公園

① 公園に新しい魅力を加える・利便性を高める事業

近年の公園利用のニーズに対応し、便利、美味しい！楽しい！等、新しい魅力を加える、利便性を高める事業を展開します。



事業名	内容	期待できる効果	実施公園
New 広報・ブランディング推進事業	ローカルメディアと連携した広報・ブランディングを展開し、公園や地域の情報や魅力を発信（Park Branding Laboの企画運営、広報媒体の運用等）	・利用促進 ・地域振興	全
New ワークーション	Wi-Fiや電源等の仕事に必要な設備環境を設け、緑豊かな公園を楽しみながらテレワークができるサービスを実施	・公園利用促進 ・利便性、満足度向上	国
むさしのマルシェ	ケータリングカーや地元飲食店の出店等、園地を利用した物販やカフェの実施	・公園利用促進 ・地域貢献・利便性、満足度向上	野・国・六・東
New 手ぶらでBBQ	公園でバーベキューの機材レンタル、食材提供等のサービスを実施（事前予約制）（連携：(株)ステップアウト）	・バーベキュー場の利用 満足度向上	野・武
New アニバーサリープロジェクト	開園後の節目となる年に、利用者と共に開園記念をお祝いする取組等	・利用促進	野・武・国
DX オリジナルグッズ制作	公園や武蔵野地域の魅力伝えるオリジナルグッズ制作	・公園利用促進	全
DX パークライフマガジン	公園の多様な過ごし方を「パークライフ」として提案・発信するウェブマガジンの作成	・公園の魅力発見	全
DX パークモニタリングシステム	アプリを使った効率的かつ効果的に管理運営するための管理者用の自社開発システムの機能向上・活用促進	・効率的な管理 ・利便性向上	全
自動販売機の設置	利用者ニーズに応じた多様な自動販売機の設置	・利便性・満足度向上	野・武・国・六・東

②あらゆる世代に届ける心身のヘルシープログラム

子どもからお年寄り、障害者等、健康な体づくりをサポートするプログラムを展開し、都民の健康増進を図ります。



事業名	内容	期待できる効果	実施公園
キッズ&親子スポーツプログラム	キッズや親子が一緒に楽しめるスポーツプログラム ・キッズ&ジュニア走り方教室 ・ニュースポーツ教室 ・親子DE伸び伸び体操教室 等	・健康促進 ・子育て世代利用促進 ・スポーツに親しむ機会の創出	野・武・国・六・東
パークフィットネス	パークヨガやバランスボールを使ったストレッチ等、主に若年層を対象としたプログラム	・健康促進 ・若年層の利用促進	国
健康づくりアクティブシニアプログラム	大人(主に高齢者)向けの健康づくりスポーツプログラム(ウォーキング、ノルディックウォーキング、健康遊具教室等)	・健康促進 ・高齢者の利用促進 ・スポーツに親しむ機会の創出	全
障害者スポーツ体験	障害者スポーツを体験するプログラムを実施	・共生社会への理解促進	野・武・国
New パークヘルシーチェック	準備運動や正しい運動方法をセルフチェックできるシート等の発行	・健康促進	全

③地域コミュニティのヘルシーを高めるプログラム

公園が地域振興、活性化の拠点となるよう、地元自治体や企業、関連団体等との連携により、地域を盛り上げる事業を展開します。



事業名	内容	期待できる効果	実施公園
あったらいいなプロジェクト企画化	地域市民からの企画提案の実現 地域と連携した麦まつり、地元作家と連携したアートイベント、音楽団体と連携したライブイベント 等	・利用促進 ・地域振興 ・利便性・満足度向上	野・武・国・六
ぶんぶんうおーく	地域と連携したプログラムやパークカフェ、物販などを実施	・地域振興、満足度向上	国
森の地図スタンプラリー	地域と連携した武蔵野エリアをめぐる広域スタンプラリーの開催	・地域振興、満足度向上 ・健康促進	全
New ウェルカムガーデン	ボランティアとともに花で来園者をもてなす花壇	・景観形成 ・ボランティア活性化	国
遊具レンタル	公園で遊ぶための遊具を管理所で貸し出し	・子どもの利用促進 ・利便性、満足度の向上	国

④地域環境のヘルシーを高める・広げるプログラム

公園を中心に武蔵野の地域環境のポテンシャルを引き出し、その魅力を効果的・広域的に発信します。



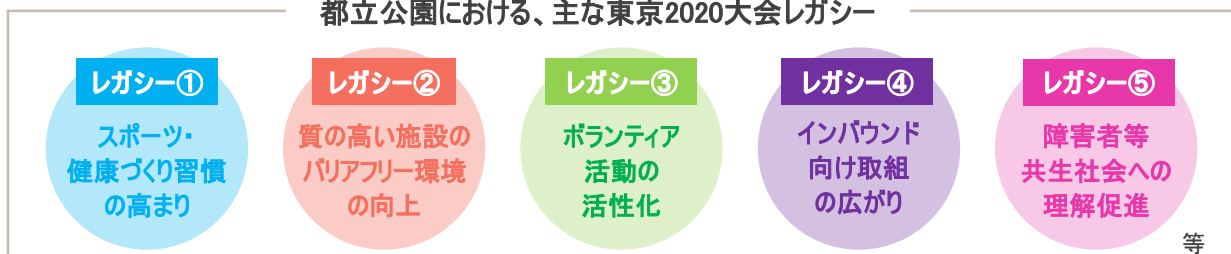
事業名	内容	期待できる効果	実施公園
むさしのカレッジ	武蔵野の保全と活用を学ぶカレッジの運営	・環境、歴史、文化の普及啓発 ・武蔵野の魅力発見	野・武・国
はけの自然とくらしフォーラム	はけ(国分寺崖線)の自然や暮らしについて、関係団体等と連携、みんなで考えるフォーラムを開催	・はけに関わる多様な主体が丸となり保全と活用を促進。環境、歴史、文化の普及啓発。	野・武・国
自然観察センターの展示	野川公園自然観察センターにおける展示の拡充	・環境、歴史、文化の普及啓発 ・武蔵野の魅力発見	野
生物多様性普及啓発事業	公園及び地域の資源や魅力を伝える資料の作成・発行や団体向けのレンジャーガイド等の普及啓発事業を実施	・利用促進 ・満足度向上	全
DX 環境教育グッズの制作・デジタル化	レンジャーミニ図鑑(英語・日本語)や、武蔵野生き物図鑑、学校の環境教育支援ガイドブックの制作・デジタル化、QRコードを用いた樹木紹介等	・武蔵野の生物多様性の普及啓発 ・利用促進、満足度向上	全
New 生物多様性向上の取組支援	外来種防除や希少種保全に関わる事業の資機材購入等	・生物多様性向上	全

(6) 東京2020大会レガシーを継承する取組

1 レガシー継承の考え方

東京2020大会に向けて、競技施設だけでなく都立公園においても、**スポーツや健康づくりに関する取組**、**ユニバーサル社会実現に向けたサービス**、**都民と共に大会を盛り上げる様々な取組等**が展開され、以下に挙げるような、ハード・ソフトの様々なレガシーが残されました。公園の管理運営において、これらのレガシーを財産として継承し、「未来の東京」の実現、「世界から選ばれる都市」づくりに貢献していきます。

都立公園における、主な東京2020大会レガシー



2 継承する具体的取組の提案

レガシー①: スポーツ・健康づくり習慣の高まり

東京2020大会の開催において、スポーツや健康づくりへの意識が高まり、習慣化されてきています。

今後、このスポーツ・健康づくり習慣のレガシーを継承していくため、**専門スタッフとしてスポーツコーディネーターを配置**し、公園特性に応じた健康づくりの機会を提供します。

公園特性に応じた健康づくりの機会の提供

具体的取組

■正しい運動方法をセルフチェックできるシートの発行

・スポーツガイドシート、運動案内と公園マップ、ウォーキング、ノルディックウォーキング、ストレッチ、怪我防止、準備運動や正しい運動方法をセルフチェックできるシートを発行します。(全公園)

■スポーツ総合イベント「チャレンジキャラバン」等の開催

・ヘキサスロンをはじめ、スポーツや健康づくりに関するプログラムを集中して開催し、子どもから高齢者まで多世代が楽しめるイベントを開催します。(武蔵野公園・野川公園・武蔵国分寺公園)

■公園特性を活かした健康づくりプログラムの開催

・パークフィットネス、キッズ&親子スポーツプログラム、アクティブシニアプログラム等、各世代の心身の健康づくりに取組むヘルシープログラムを開催します。



その他の具体的取組

構成団体のミズノスポーツサービス株式会社では、**オリンピックレガシーを継承**するため、以下の取組を拡充しています。これらの取組を**公園の管理運営に活か**していきます。

- **トップアスリートによる地域スポーツ振興**: プロの技術や精神の直接伝授、参加者間の交流を促進するプログラムの開催(国内外で活躍した20競技のアスリート約300人が登録)
- **子どもの体力・運動能力の向上**: ミズノブランドの各種プログラム「ヘキサスロン」「ミズノ・スポーツ塾」「運動会必勝塾」等、運動が好きな子どもを増やすイベント・プログラムの開催
- **ミズノプレーリーダー**: 子どもがいきいきと遊べるような環境づくりと、子ども同士の主体的な遊びを見守る人材育成
- **ながら運動の提供**: テレワークの増加等に伴い、自宅やオフィスで簡単にできる運動として、運動不足解消をめざした健康プログラム「ながら運動」の提供



レガシー②: 質の高い施設のバリアフリー環境の向上

世界各国からの観光客や多様な障害を持った方々を迎えるため、当パートナーズにおいても、ユニバーサルチェックによるサインの改修や車いすでも通りやすい公園入口の改善等を進めてきました。今後も**段差のない社会づくりに貢献していく取組**を継承していきます。



障害を持つ講師のユニバーサル研修を踏まえ、公園入口を改修

ユニバーサルチェックを通じたバリアフリーの推進

具体的取組

- ・ユニバーサル研修の継続
- ・ユニバーサルチェックによる点検、技術指導の継続
- ・サイン、看板、解説板の多言語化、ピクトグラム化の継続

レガシー③: ボランティア活動の活性化

東京2020大会を契機にボランティア活動への関心が高まり、文化として定着しつつあります。これまで当パートナーズにおいて、雑木林の保全や花壇づくり等、多様なボランティア活動が展開しており、今後も**ボランティア文化の裾野がさらに広がるよう、多様な活動の受入、多世代化の取組**を進めます。



ちよいボラ

ボランティア文化の裾野を広げる、多様な活動の受入・多世代化の取組

具体的取組

- ・誰もが気軽に参加できる「ちよいボラ」の拡充
- ・学校、団体、企業CSR活動等のボランティアの受入の拡充
- ・登録ボランティアによる活動の活性化
- ・ガイドライン策定に基づく、協働の仕組みづくりの拡充

レガシー④: インバウンド向け取組の広がり

多くの来日が予想された外国人観光客や日本在住の外国人等に、公園の魅力をやより多くの人に伝えるため、**多言語によるパンフレットや動画の制作、レンジャーによる外国語ガイド**等を行ってきました。今後も**DX等を活用しながら、多言語化による公園の魅力伝達**を拡充します。



外国語ガイドの実施
(野川公園)

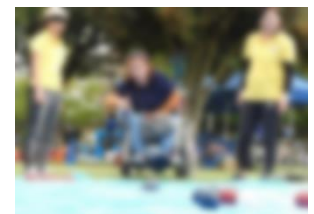
多言語化によるインバウンド等への公園の魅力伝達

具体的取組

- ・管理事務所の窓口における翻訳機の設置 **DX**
- ・多言語に対応したパンフレット、セルフガイドシートの継続発行
- ・QRコードによるセルフガイド、動画配信による多言語化の拡充 **DX**
- ・外国人向けレンジャーガイドの継続実施(主として野川公園)

レガシー⑤: 障害者等共生社会への理解促進

東京2020大会におけるパラスポーツを通じて、障害を持った方々への理解が深まりました。当パートナーズでも障害スポーツ体験会やユニバーサル研修等を実施してきました。今後も、**スタッフ対応、利用者同士の交流、スポーツ体験等を通じて**、障害の有無や文化の違いの垣根を超えて、多様な価値観を認め合う、共生社会の実現に寄与した取組を進めます。



障害者スポーツ体験会

障害者等との交流やスポーツ通じた共生社会への理解促進

具体的取組

- ・遠隔手話サービスを活用し、窓口対応を拡充 **DX**
- ・ユニバーサル研修を踏まえた、スタッフ対応の向上 **New**
- ・障害者スポーツ普及のための体験会の継続(武蔵国分寺公園)

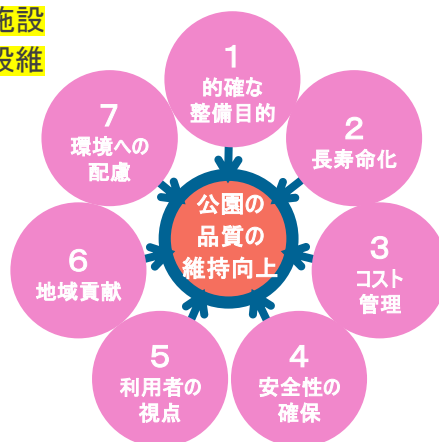
4. 施設維持管理計画

(1) 適切な維持管理を行うための取組

1 維持管理に対する基本的な考え方

私たちは、持続可能な公園の維持管理を進めるため、総合的に企画・管理・活用するファシリティマネジメントの手法に基づき、また各種関連法令等の遵守および東京都のパークマネジメントプラン等の整備方針に従い、**施設の品質の維持向上と中長期的視点に立った効率的かつ安定的な施設維持管理**を進めます。具体的には以下の7つの方針により実施します。

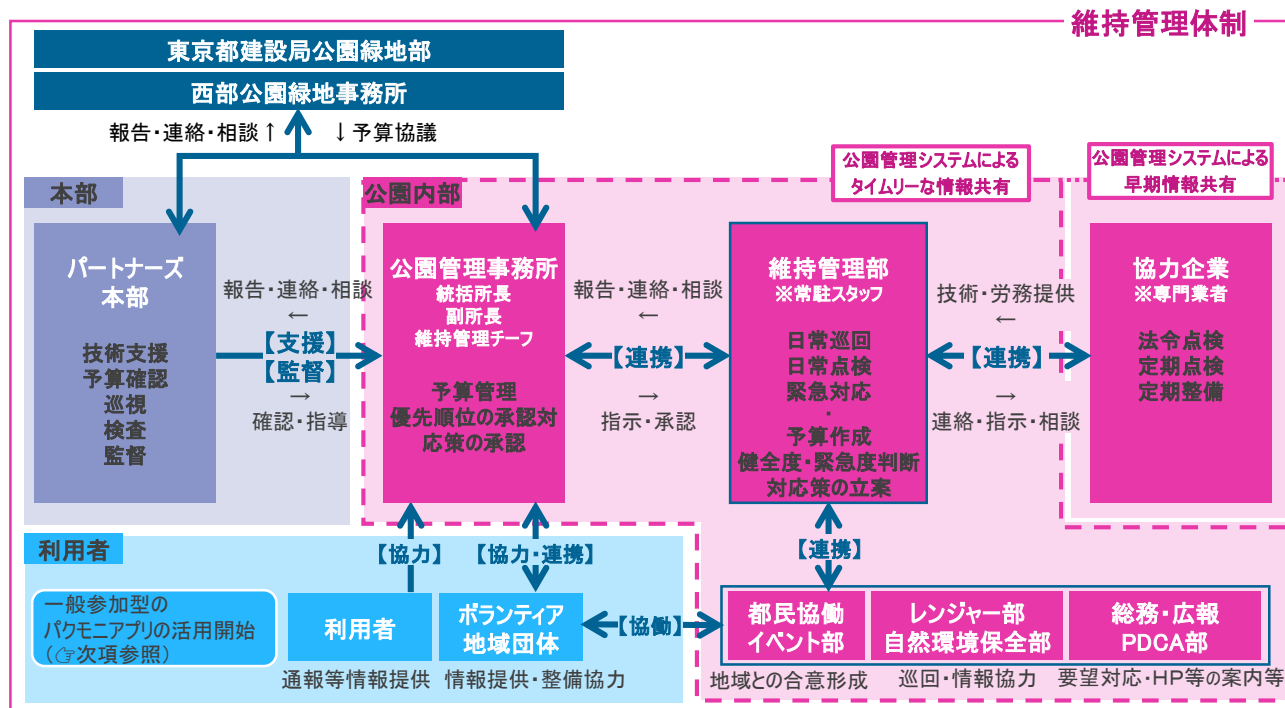
- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 的確な整備目的の反映…… | 利用頻度・健全度・緊急性に応じた整備計画 |
| 2. 長寿命化の実現…… | 早期発見・早期対応による施設の長寿命化 |
| 3. コスト管理の徹底…… | 本部の総合監理と現地対応を合わせた効率化 |
| 4. 総合的な安全性の確保…… | 維持管理情報のデータ蓄積による予防保全 |
| 5. 利用者の視点の重視…… | 利用者による情報提供の共有と反映 |
| 6. 地域のまちづくりへの貢献…… | 都民協働・地域連携による整備活動と景観向上 |
| 7. 地球環境への配慮…… | 維持管理業務を通じた気象災害への対応 |



2 品質確保にむけた業務管理体制

① 品質の維持向上のための施設維持管理体制

私たちは、**東京都の手引き、各種関連法令や指針・基準等を遵守**し、作業ごとの管理マニュアル、チェックシートを作成し、役割を明確化した**常駐スタッフによる日常巡回と、専門業者による定期点検**にて維持管理を的確かつ効率的に実施します。そして、今までの管理実績と経験値の他にオリジナルの公園管理システム（パークモニタリングシステム）を活用したタイムリーな情報共有で、**早期発見・早期対応と予防保全**を可能にします。さらに施工維持管理事業を主体事業のひとつとするパートナーズ本部の代表企業による**技術支援・コスト管理・検査監督の実施**と、**多角的な視点（公園内部、本部、利用者）**を踏まえたPDCAマネジメントサイクルを運用し管理水準の向上と安定した品質確保を確実にします。



② 施設維持管理体制の強化

常駐の維持管理スタッフによる日常管理と協力企業による専門性の高い点検の他に、パートナーズ本部の専門スタッフと管理所のスタッフによるパークスキャン（③次項）の実施やパークモニタリングシステムの活用により多様な視点での漏れの無い品質管理が実現します。さらに、造園業務の経験をもつ人材や専門性の高い人材を常駐スタッフとして配置し現地での早期かつ適正な判断と対応を行います。



パークスキャン実施状況

3

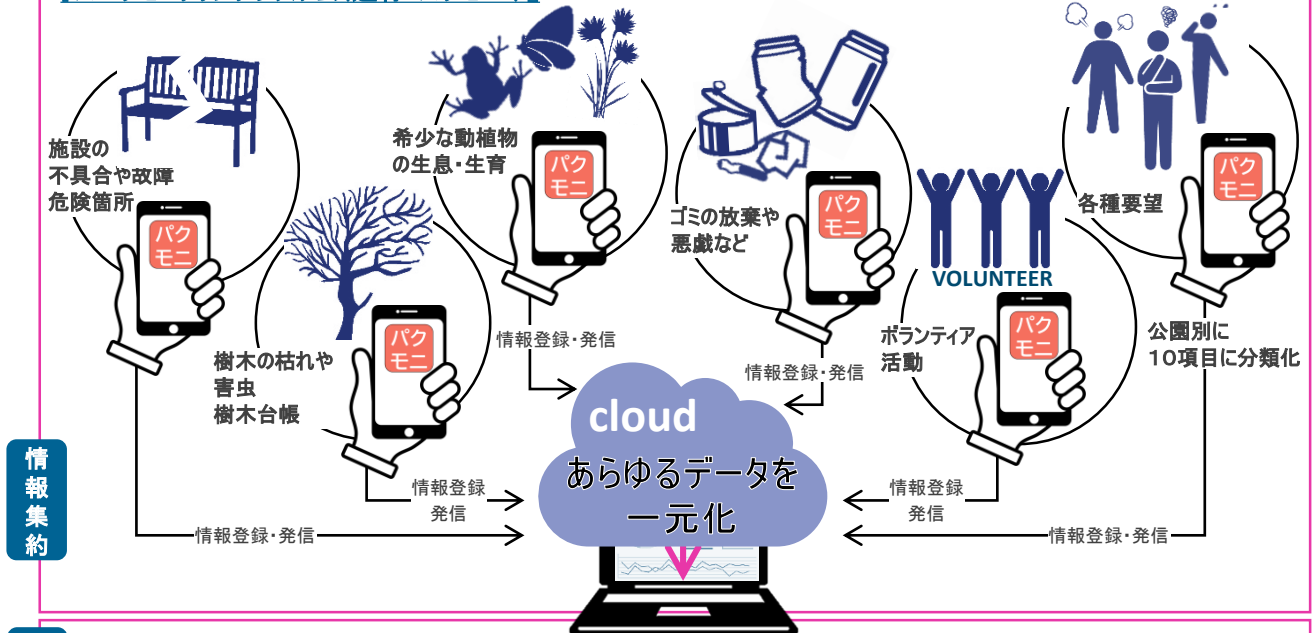
品質管理を確実にする具体的な取組

DX

①維持管理を革新するための(維持管理DX)システム『パークモニタリングシステム(通称“パクモニ”)』の活用

品質確保のためには早期発見、早期対応が欠かせません。私たちは、巡回時に発見した施設の不具合と位置情報をスマートフォンを活用して所管管理所と即時に共有化する独自のシステムを自主事業にて開発し活用しています。これは維持管理スタッフだけでなく、公園スタッフ全員および業務委託先の専門業者とも情報共有ツールとして活用することができるため、遠隔でも適正な判断と対応が実現します。更に情報を蓄積し整理・分析をすることで効率的な施設改修や不具合や故障の発生前の対応が可能となります。このシステムは維持管理業務に限らず、動植物の生息・生育場所や状況、公園に寄せられる利用者や近隣住民からの各種要望等の情報共有に活用し、トータル的なマルチシステムとして運用が可能です。私たちはこのシステムを2018年から運用し、データ管理の継続と汎用性を高め、より管理水準の向上と新しい管理運営手法として活用します。

『パークモニタリングシステム(通称“パクモニ”)』



分析

発生位置・発生時期・発生時間・発生推移・発生傾向を整理 → 様々な角度から分析 → 目的を設定し活用方法を検討

維持管理での活用

活用

- 早期発見と瞬時共有・早期対応
- 的確性の向上とコスト縮減
- 各種報告書活用による業務低減
- 蓄積データ分析による予防保全 等

生物多様性での活用

- 生息・生育環境の保全活動
- 外来生物の計画的防除
- 調査活動の効率化と的確性の向上 等

利用者サービスの向上での活用

- 利用者要望の早期反映と改善
- 利用環境の改善に反映
- 危険箇所の早期発信と対策 等

展開

一般利用者に展開((仮称)みんなでモニタリング)・環境教育や環境学習へのデータ活用・気象状況との連動・等々活用の可能性を広げ、汎用性を高めることで、公園にかかわる様々な質の向上と新しい管理手法として確立する。
※地域住民にパークモニターとして登録していただき情報を迅速に管理所へ連絡できる「パークモニターカード」は継続的に実施

②その他取組について

DX

DX・ロボットの活用

- ・ドローンを活用して樹林や公園施設上空など広域で多角的な巡回と点検を実施
- ・自動芝刈り機を用いた確実性・安全性・環境に配慮した芝生の管理
- ・探知機を使用したインフラ整備

New

新しい機材の導入

- ・脱炭素の取組として機材を電動タイプに変更 → 作業時の騒音の低減にも効果有り
- ・法面の草刈りの効率化と作業員の安全対策としてラジコン式ハンマーナイフの導入
- ・ナラ枯れ等による伐採木の再利用として薪割り機やベレット機等の導入

専門機関のチェック

- ・法面や樹林際など不安定箇所のチェックを専門機関と連携して事前に行い、安全確保や減災にむけて計画的かつ早期対応を実施(事例:一般社団法人日本地盤協会による擁壁診断)
- ・土壌医協会による土壌の健全な維持にむけて診断や指導を実施

New

New

専門業者との連携

- ・遊具メーカーとの連携により遊具施設の安全性の確保と現地スタッフの点検技能の指導
- ・建築物清掃管理評価資格者(通称:ビルクリーニング品質インスペクター)を公園の管理にも活用し良好かつ安全な衛生環境及び保全等の維持向上に寄与

New

安全・安心への意識向上の取組

- ・安全推進大会の開催(年1回)
協力企業の安全意識の向上を目的
- ・安全会議の開催(年2回)
協力企業の実務を行う作業員や直営スタッフを中心に事故事例と安全活動の報告と共有
- ・維持管理ミーティング(月1回)
本部と維持管理スタッフで苦情や課題の共有
- ・園内の安全衛生パトロールの実施
代表企業の安全衛生管理部門による園内巡視を行い、適正な維持管理の改善と危険要因箇所の発見による事故災害の未然・再発防止を図る。
- ・パークスキャンの実施
本部の専門スタッフと管理所のスタッフによる品質確認と安全衛生パトロール
- ・ボランティア向けの安全作業の講習
活動時の道具の扱いやルール等の周知

(2) 事故、自然災害及び感染症などの社会課題への対策・対応するための取組

1 基本的な考え方

私たちは、これまで日常の安全点検をはじめ、巡回・防災訓練等といった安全管理・危機管理を徹底し、事故の防止や自然災害・感染症等の対策に取り組んできました。事故・災害発生時には、各種分野の協力団体（災害復旧に関する協定を締結）とともに、安全確保、被害の最小化に全力で対応します。そして**地域防災力の向上**にむけて、東京都・各自治体・警察・消防等との連携体制はもちろんのこと、地域住民と連携して、公園での防災活動をきっかけとして**誰もが安全に安心して過せる地域づくり**を共に行っていきます。



パートナーズ主催の防災活動

2 事故、自然災害及び感染症など未然・最小限に防ぐ対策

事故を未然に防ぐため、様々な主体・視点による**点検と予防保全、事故発生シーン毎に想定した備え**の充実、**各関連機関との連携・情報共有・普及活動**を行います。また、利用者の安全を第一とし、東京都への報告、二次被害防止など対応を着実に実施します。

①点検と予防保全

- ・ハザードマップによる**情報共有**……ハザードマップを共有し危険箇所の把握
- ・パークスキャン……本部の専門スタッフと管理所のスタッフによる安全・衛生パトロールと園内施設の点検（年1回）
- ・専門技術者による**定期点検**……各種指針、マニュアル、チェックリストに基づく詳細な定期点検
 - 公園全般……「公園施設の安全点検に係る指針」（案）（H27.4 国土交通省）に基づく定期点検及び危険箇所の掲示
 - 樹木……倒木、落枝による被害対策。「樹木点検マニュアル」に基づいた点検及び樹木医による点検・診断（年1回以上）
 - 遊具施設……指針に基づいたマニュアルのチェックリストによる点検。目視（毎日）、自主点検（月1回）専門技術者による点検（年2回）
 - 池や水景施設……ポンプ等設備点検、水質の定期点検、自然環境保全部によるモニタリング
- ・その他、パークモニタリングシステムを活用したハザードマップの更新、KY活動や安全パトロール等によるフタッフや作業員の安全活動

②備えの充実

- ・安全管理マニュアル等に基づく訓練、新しい知見・経験に基づくマニュアルの継続的な改善
- ・消防署や警察署と連携した各種訓練、救急救命士による応急手当、AED講習の実施（全員）
- ・各公園作業車、サービスセンターに携行救急セットを常備
- ・反社会的勢力対応基本規程に基づく対応
- ・桜花期・繁忙期、夏期・年末年始の夜間、被害発生後等、必要に応じ警備会社等による巡回
- ・イベント時は保健所の指導のもと、臨時出店等における食品衛生管理



安全パトロールによる点検状況

③各関連機関との連携・情報共有・普及啓発

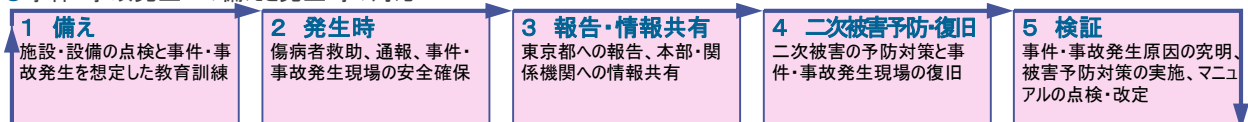
- ・東京都や地元自治体、警察や消防など各関連機関との連携強化と連絡体制の整備
- ・毎日の朝夕礼にて公園スタッフ間での園内施設の状態や事故に関する情報共有
- ・安全会議にてスタッフ、協力会社間での事故事例の共有と事故予防ワークショップの開催
- ・公園で活動する登録ボランティアを対象とした安全管理講習を実施



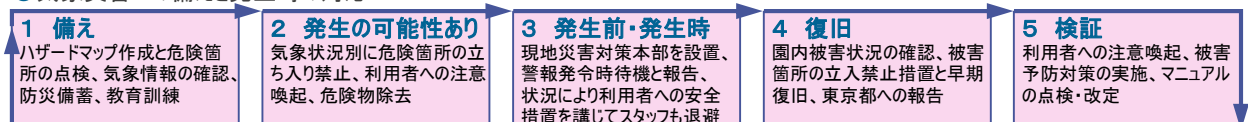
ボランティア活動での安全管理講習会

④備えと発生時の対応（発生後は必ず検証し次の備えに活用）

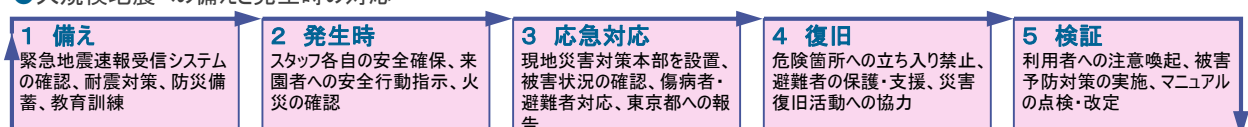
●事件・事故発生への備えと発生時の対応



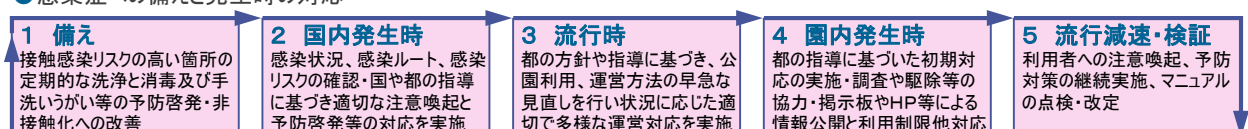
●気象災害への備えと発生時の対応



●大規模地震への備えと発生時の対応



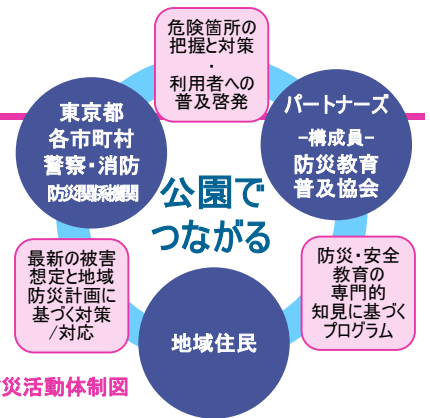
●感染症への備えと発生時の対応



3

社会課題における組織体制及び対応

私たちは、これまで地域防災力の向上にむけて、**地域とともに防災訓練**や**防災ワークショップ**を行い取組んできました。今後も定期的な防災活動を開催し公園版タイムラインの継続的な改善を行うとともに、公園での防災活動の参加を通して**各関係機関や地域住民の公助・共助**における**「顔の見える関係構築」**を図ります。



①公園版タイムライン策定でのパートナーズの役割

地域防災活動体制図

機関	東京都・各市区町村 警察・消防・防災関係機関	パートナーズ	地域	住民
タイムライン 種別	広域・市町村版 タイムライン	公園版 タイムライン	地域版 タイムライン	マイタイムライン
タイムライン の 主体	地域防災計画に基づき 都、市町村、防災関係機関が 主体	＜活用による効果＞ 公園で想定される災害の課題や対応行動の明確化 行政・防災関係機関、公園、地域、住民の情報共有 防災訓練を通じた地域防災力の向上と普及啓発 行政・防災関係機関、公園、地域の関係構築 地域防災リーダーの育成協力	自主防災会・町内会等 コミュニティが主体 (地域防災計画等)	ライフスタイルに応じて 個人・家族が主体 個人や家族の防災行動計画 を策定
目的	公助 行政や消防・警察による救助 活動や支援物資の提供など、 公的支援を円滑に進めること	公助・共助・自助 利用者・地域住民および管理者の安全を確保し公的支援 が整うまでの避難者対応と支援	共助 災害時要配慮者の支援や救助 活動を地域住民が計画的に 行うことで地区の防災力を向上	自助 個人や家族で日頃から災害に 備え災害時には率先して自分 達で身を守る。

②公園版タイムライン策定の取組

私たちは、有事の際に活かせる防災訓練にするため、**行動と時間を具体的に示したアクションカード**を活用して訓練してきました。その取組を継続するとともに、参加者全員で「公園ができること」や「一緒にできること」等のアイデアを出し合い改善を図ります。



- 1. 各公園の地域特性を踏まえた課題分析と対応の設定**
 - 各公園で想定される災害の特性に応じた課題分析と時系列での対応を設定
 - 【進行型】台風・大雨に伴う情報収集と発信、事前対策、立ち入り禁止措置等
 - 【突発型】地震等に伴う来園者・スタッフの安全確保、避難者対応・支援等
- 2. 都や市区町村、防災関係機関、地域との協議・共有**
 - 課題分析と対応に基づき、指示命令系統や役割、防災アクションを明確にする
 - 管理者の対応について、都・防災関係機関・地域住民と協議及び共有の場をつくる
 - 市区町村、地域住民等による防災教育訓練に積極的に参加・協力し、管理者の災害時の対応について普及啓発する
- 3. 防災アクションの開始条件と優先行動の設定**
 - 警報発令や緊急地震速報等、防災アクション開始条件の設定
 - 防災アクションに必要な所要時間を設定し、優先順位を決定
- 4. タイムラインの作成**
 - 課題分析、防災アクションの明確化、優先行動、関係機関の対応を踏まえた公園版タイムラインの作成
- 5. 防災教育訓練によるタイムラインの検証、共有**
 - 公園設備を活用し、様々な条件を想定したアクションカード(右図)に基づく実践的な防災教育訓練の実施、課題の検証
 - 都や防災関係機関、地域住民が参加する懇談会等を通じて共有と見直しを行う
- 6. タイムラインの活用**
 - 防災アクションに基づき記録された時系列の対応や課題を分析しタイムラインの改善に反映
- 7. 関係機関と地域住民共同でタイムラインの振り返り**
 - 災害発生後に可能なかぎり行動を時系列に記録しタイムラインに反映

防災訓練でアクションカードを活用したタイムラインの検証



4

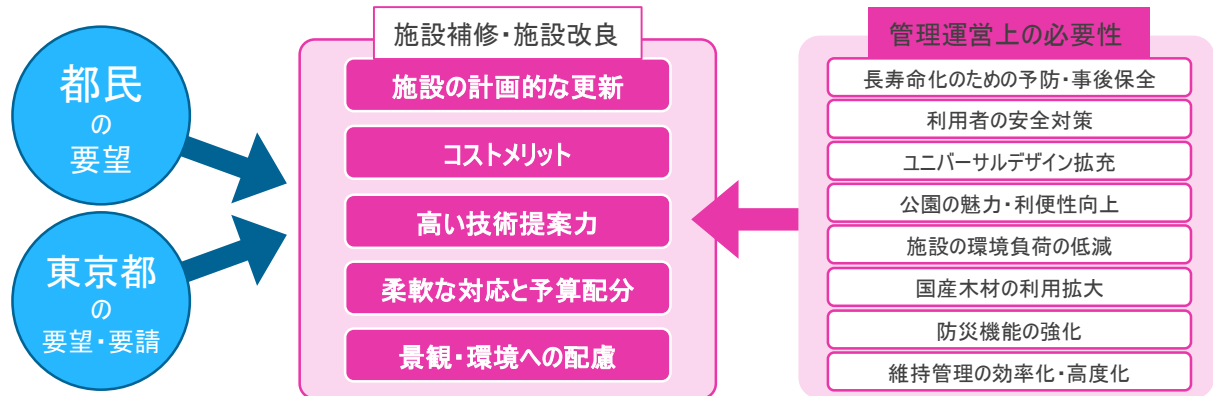
その他取組

- 災害ネットワークの構築の一環…災害時に必要な注意喚起等を多言語化し、迅速な情報提供を実施
- 土砂災害危険地域の対応…毎月点検の実施、防護壁としてブロック積の設置
- 防災トイレ・かまどベンチを活用した防災訓練…使用について動画を作成し共有
- 林野火災防災対策…防火帯の整備として必要に応じた樹木の伐採
- 抗菌コーティング加工…利用者が直接触れる可能性の高い部分を中心に、継続的な抗ウイルス・抗菌効果のあるコーティング剤を施し抗ウイルス・抗菌加工を実施

(3)施設補修、施設改良に関する要望への取組

1 施設補修や施設改修に対する考え方

私たちは、施設補修や施設改良要望について、**広く都民の意見を収集し、優先順位を判断し、適切かつ迅速な対応**を行います。また、都民や東京都からの要望のほか、管理運営上必要な施設補修や施設改良もあることから、利用者の安全確保を第一に、これらを**総合的に判断しながら対応**します。そして、**民間ならではの柔軟な対応と技術提案力、コストメリット**をもって実施するとともに、周辺の景観と調和し、環境へ配慮した補修・改良により、公園の魅力を保持・向上します。

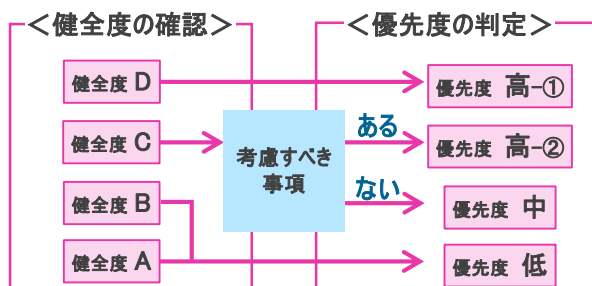


2 要望への対応姿勢と迅速かつ効果的な実施方策

①都民および東京都からの要望への対応

私たちは、都民や東京都からの要望について広く収集し、**利用者の安全性、修繕の規模、ユニバーサルな視点**で検討します。そして公平さを保つために、以下の判定手法をもって迅速に優先順位を決めて対応します。

●優先順位の判定について



緊急度	判定の目安
高-①	・健全度がDの施設
高-②	・健全度がCの施設で、考慮すべき事項に当てはまるもの
中	・健全度がCの施設で、考慮すべき事項に当てはまらないもの
低	・健全度がA又はBの施設

考慮すべき事項
①管理運営上の必要性ある事項(上記参照)
②利用者要望多数
③パブリックコメント等による都民要望

②効果的な5つの実施方策

施設補修及び改良の実施にあたり以下の5つの方策をもって**効果的な資金運営および柔軟性**をもって実施します。そして実施にあたり緊急性を要する場合には、東京都と協議のうえで、自己資金により先行実施を行う等、柔軟に対応します。

方策①コスト管理の徹底

- ・造園施工部門をもつコンソーシアムの代表企業によるコスト管理
- ・ムリ・ムダのない発注内容の確認と実施 等

方策②コストメリットの追求

- ・DXを活用した情報収集と早期対応および新しい維持管理手法の開発
- ・ロボット活用による品質の向上、安全性の確保、経費削減 等

方策③スケールメリットの活用

- ・全国規模の資材一括購入や地域企業への計画発注
- ・東京都西部に地盤のある代表企業ならではの幅広い地域企業との連携 等

方策④高い技術力

- ・植物管理や施設管理の各種資格をもつスタッフの配置による高い水準による維持管理
- ・技能マルチスタッフの育成により、現地でのスピーディーで的確なワンストップ対応の実現 等

方策⑤資材の有効活用

- ・維持管理業務で発生した資材を柔軟な発想で公園施設に再利用
- ・発生材を活用した自主事業による利益還元 等



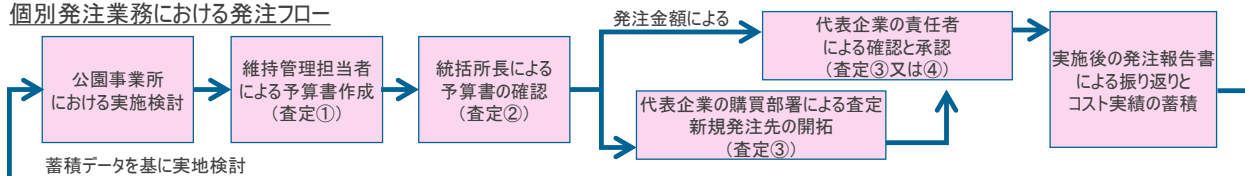
3 具体的な取組の提案

方策①コスト管理の徹底

●造園建設業のノウハウを活かした発注によるコスト管理

- ・造園施工経験で培った予算作成から発注までの業務フロー。
- ・公園事業所、パートナーズ本部のほか、工事部署を持つ代表企業による、発注先選定から全体予算管理。
- ・代表企業の工事部署による発注先協力企業の多岐にわたる選択肢。

個別発注業務における発注フロー



方策②コストメリットの追求

●独自の公園管理システムの開発と活用 ④(1)適切な維持管理へ

●自動芝刈り機の導入

- ・毎日の刈草が微小で土に還るため、刈草が発生せずゴミが大幅に低減。
- ・日々の草刈りで葉の密度が高まり、芝生の品質が向上と雑草の抑制。
- ・スマートフォンでの遠隔管理によりトラブル等の発生は即時に把握し早期対応。

●ドローンの活用

- ・人力や重機等では確認が難しい斜面地等のナラ枯れの被害状況を可視化。
- ・公園管理所やその他施設の屋根等、点検が難しい箇所の状況確認と早期発見。

●乗用草刈機の活用

- ・乗用草刈機を指定管理者で所有し、広域の草地で活用することで効率化。



方策③スケールメリットの活用

●地域企業との連携及び計画発注

- ・創業1951年の東京都西部に地盤があるコンソーシアム代表企業による地域のネットワークを活用し、連携をもって臨機応変な植栽地および施設の補修や改良が可能となります。さらに年度を通した計画的な発注工程を地域企業と組むことで施設補修業務の安定性と緊急性を要する場合の早期対応が可能となります。このことは地域需要の安定にもつながります。

●資材等の一括発注

- ・全国83ヶ所566施設の管理運営をおこなっているコンソーシアム代表企業グループにより球根や花苗等の一括購入、造園資材の協定単価購入、部品交換周期の統一を実施。

●専門技術および専門知識の共有とそれにかかる費用の分配

- ・パートナーズが関わる他の公園と専門技術者や専門機関での技術指導、技術研究、技術情報等を共有することで、それにかかる費用等を分散化。



方策④高い技術力

●技術スタッフによる高水準の維持管理

- ・造園施工の経験や関係する各種資格をもつスタッフが、適正な工法や材料を選定し、現場状況、工程管理、品質管理内容を把握することで公園により適した質の高い修繕が実現。
- ・リモコン式の機材の導入により維持管理業務の効率化と法面や危険生物等の危険箇所での作業員の安全確保。
- ・更新伐採の提案を行い、作業ルート確保による作業効率の向上と樹林地の再生を実施。
- ・探知機等を用いて老朽化した埋設給水管の漏水箇所を特定し修繕を実施。水道代削減の他、図面化し以後のメンテナンス業務効率を改善。



方策⑤資材の有効活用

●公園発生材の有効活用

- ・地域公共施設へ活動や訓練用の資材として伐採木を提供(学校・消防等)。
- ・伐採した木材をチップや公園施設として再活用。
- ・伐採した木材を薪にして販売。
- ・竹林整備の発生材を竹チップとして園路に敷均し歩行環境の改善。
- ・伐採木を使用したエコスタック等



(4)維持管理業務の進め方

区分	公園施設区分等	主な取組項目	取組内容	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
施設管理	園路広場 (園路・広場・階段・スロープ・手摺等)	■ 園路広場の清掃、点検(毎日) ■ 公園橋の日常巡回時の外観点検(毎日)、専門業者による点検実施(令和5年度実施計画)	■ 巡回点検時にごみの回収、支障物除去を実施。園路は落葉期に適宜落葉を除去。 ■ 道路橋定期点検要領(平成31年)に基づき専門業者による点検を実施				
	修景施設 (自然池・噴水・流れ・彫像等)	■ 観察園内の池の巡回点検(開園時) ■ 池の水質検査(月1回) ■ 池の侵略的外来生物の除去 ■ 希少生物の保全(適宜) ■ 湧き水広場の日常巡回時点検(毎日)	■ 巡回時に目視による点検を実施。 ■ 透明度、化学的酸素要求度を専用の機器を用いて計測。結果をまとめて報告。 ■ ウシガエル、アメリカザリガニ等の駆除 ■ ニホンアカガエル、アズマヒキガエルの産卵確認 ■ ごみを適宜除去。危険物除去で事故防止に努める ■ 木部のさくれ、ビスやナットの飛び出しを確認。異常がある場合は直ちに使用を中止し、修繕。				
	休養施設 (ベンチ・野餐桌・パーゴラ・四阿等)	■ 休養施設の日常巡回時清掃、外観点検(毎日)					
	遊戯施設 (遊具・徒渉池等)	■ 遊具の専門点検業者による点検(年2回) ■ 維持管理スタッフによる目視点検の実施(毎日)	■ 点検の結果、使用に支障がある不具合を確認した場合は直ちに使用を中止し、修繕を実施。 ■ 日々の点検により、不具合箇所の早期発見、対応、事故防止に努める				
	便益施設 (便所・水飲み・駐車場・時計台)	■ 便所の定期清掃(週3回)特別清掃(年1回) ■ 水飲み場の日常点検時の清掃(毎日) ■ 屋外時計の作動状況確認(毎日)	■ 異常箇所は適宜修繕を実施。ホルダー内に常時ペーパーがあるよう補充を実施。特別清掃として重点清掃、便器や排水口の尿石除去を実施 ■ 水飲み排水口のつまり除去、清掃の実施 ■ 時間補正、修繕を適宜実施				
	管理施設① (門扉・柵・車止め・サイン等)	■ 門扉、柵の維持管理スタッフによる目視点検(毎日) ■ サインの掲示(適宜)ユニバーサルデザインを取り入れたサインの作成と見直し(年1回)	■ 日々の点検により、使用に支障がある場合は直ちに使用を中止し、修繕を実施。 ■ 汚れ、はがれ時は適宜新しいものに差し替える。ユニバーサル研修時に、専門講師のアドバイスにより作成・見直し(視覚障害者にもわかりやすいサイン等)				
	管理施設② (側溝、集水樹等の排水・給水施設)	■ 側溝特別清掃の実施(年3回) ■ 側溝、集水樹の降雨後の点検、清掃の実施(適宜)	■ 土砂等を除去し、排水機能を確保 ■ 適宜清掃を実施し、長時間の水の滞留による蚊の発生や、激甚化する気象災害に備える対策とする				
	管理施設③ (受変電設備・発電機・公園灯・空調設備・放送設備等)	■ 受変電設備の月次点検(毎月)、法定点検(年1回) ■ 非常用発電機の動作確認(年1回) ■ 公園灯の日没後の点灯確認(月1回) ■ 空調設備の簡易点検(年2回)、重点点検と清掃(年2回) ■ 放送設備の動作確認(月1回)	■ 電気主任技術者の選任、有資格者による法定点検(月次、年次)を実施。 ■ 年に1度動作点検を実施。 ■ 不具合確認時は修繕を実施 ■ 簡易点検時は異音発生状況、動作状況を目視で確認。重点点検は専門業者が機器の分解・清掃の実施 ■ 動作に支障がある場合は修繕を実施				
	管理施設④ (管理所・倉庫・バックヤード等)	■ 管理所日常清掃(毎日)、専門スタッフ清掃(週2回) ■ 倉庫、バックヤードの整理清掃(毎日)	■ 管理所内を快適な状態に維持する ■ 整理整頓を心がけ、事故発生防止に努める				
	管理施設⑤ (擁壁等)	■ 定期巡回時に目視による外観点検の実施(毎日)	■ 日々の点検により、使用に支障がある場合は直ちに安全領域を確保し、都と対応を協議。				
	運動施設 (野球場・テニスコート・サッカー場・更衣棟等)	■ テニスコートの点検、管理(毎日) ■ 更衣棟の清掃(毎日) ■ 構成団体のノウハウを活かした特別点検	■ 開場時、閉場時の目視点検、落ち葉清掃を実施。テニスコートの砂の補充、ネットの張替え、整備ブラシの交換の実施 ■ 終業時に清掃を実施 ■ 専門のスポーツコーディネーターが、競技者の視点で点検し、修繕内容を提案する。				
	その他・創憲工夫	■ パークモニタリングシステムの活用(毎日) ■ 来園者の安全確保(毎日)	■ 異常箇所はパークモニタリングシステムに登録。即時対応。情報を蓄積し、分析することにより予防保全の実施につなげる。 ■ 施設点検は利用者数が増える時期の前に重点実施				

(4)維持管理業務の進め方

区分	公園施設区分等	主な取組項目	取組内容	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
植物管理	土壌	必要に応じて植栽基盤診断士による診断を実施(適宜)	植栽の生育に支障がある場合は土壌調査を実施。診断結果をもとに東京都協議の上、必要に応じて土壌改良、排水工事を実施し、植物が良好に育つ土壌環境を整える。				
	樹林地① (来園者が立ち入るエリア)	- 維持管理スタッフによる巡回時の目視点検(毎日) - ナラ枯れ樹木の対応(適宜) - 有毒生物の確認、必要に応じた駆除(適宜) - キンラン等山野草の保全、外来種等の選択的除草の実施(適宜)	- 支障木、かかり枝の除去により、安全確保 - 安全確保を第一に枯れ枝除去、伐採を実施 - チャドクガ、スズメバチ等利用者に支障がある状況に応じた対応 - 山野草保全を踏まえた下草刈、外来種等の選択的除草の実施の実施				
	樹林地② (来園者が立ち入らないエリア)	- 維持管理スタッフによる巡回時の目視点検(毎日) - ナラ枯れ樹木の対応(適宜) - 有毒生物の確認、必要に応じた駆除(適宜) - キンラン等山野草の保全、外来種等の選択的除草の実施(適宜) - 冬期笹刈の実施(12月～2月) - 野鳥繁殖への配慮(夏期) - 野鳥越冬への配慮(冬期)	- 支障木、かかり枝の除去。 - 安全確保を第一に枯れ枝除去、伐採を実施 - チャドクガ、スズメバチ等利用者に支障がある状況に応じた対応 - 山野草保全を踏まえた下草刈、外来種等の選択的除草の実施の実施 - 実施により範囲拡大防止につなげる - 草刈り実施時はモニタリング結果により、鳥類の夏期繁殖に配慮して計画する(3～7月) - 冬のササ刈などの際には、モニタリング結果により、冬鳥の越冬に配慮して計画する(12～3月)				
	草地	- 利用状況に応じた草刈の実施(4月～11月) - 外来種等の選択的草刈の実施(適宜) - エリア内の生物に配慮した草刈等の実施(適宜)	- 繁忙期前の除草の実施で快適な利用環境を提供 - 侵略的外来植物の開花結実期(8～11月)の除草 - ハツタ類のふ化(4～6月)、ハツタ類の繁殖(9～10月)に配慮した草刈の実施。冬期刈止めによる野鳥への配慮(12～2月)				
	芝生地	維持管理スタッフによる巡回時の目視点検(毎日)	使用に支障がある場合は直ちに使用を中止し、安全を確保。要修繕箇所はバクモニアブリに登録をし、改修履歴情報を蓄積。				
	花壇	サービスセンター周り、正門わき花壇の管理(通年)	年間植栽・管理計画を策定し、管理。来園者のおもてなしを表す				
	その他・創意工夫	- 東京都制定「維持管理業務の手引き」に従い業務を実施(通年) - ランドスケープパトロールの実施(年1回)	- 作業状況、異常箇所は適宜記録に残す。異常箇所発見時は適宜東京都に報告を実施 - 専門技術者によるパトロールの実施。眺望や興行を感じさせる景観、フォトスポット、また居心地の良い広場づくり等について、現場視察や意見交換を行い、修景伐採や透かし剪定、下草刈り等を計画				
		- パークスキヤンの実施(年1回) - 安全作業の取組(通年) - 生物多様性スポット保全を踏まえた順応的維持管理の実施(適宜)	- パートナーズ本部の専門スタッフと管理所全スタッフにより施設、設備面の安全点検を実施 - 規制帯標準設置マニュアルを基に作業エリアを明示し、来園者、周辺建造物等の安全を確保。草刈、安全運転等作業向け年3回の安全会議を実施。 - 保全と見処となる植物の生態に配慮した管理の実施。マヤラン、フデリンドウ等。				
		資源の有効活用(通年)	伐採樹木、剪定枝は花壇土留めやエコスタックの資材として活用				

(5) 公園が持つ緑の特性を一層引き出すための新たな維持管理の考え方

1 基本的な考え方

都立公園の緑は、右図に示した多様な機能を持ちます。私たちはこの機能が発揮できる、質の高い緑の確保とその向上を目的に維持管理に取り組んできました。その中で、近年、**持続可能な地域社会の形成**に向けて様々な社会課題に対応していくため、**自然が持つ多様な機能を活用していく「グリーンインフラ」の考え方**が重要視されています。私たちは、グリーンインフラを支える重要な拠点である公園で、緑の持つ多様な機能を、**多様な主体の参画により発揮**させ、「未来の東京」の持続可能性を支える維持管理を実践していきます。



「未来の東京」
持続可能な維持管理の実践

2 緑の特性を一層引き出すための新たな考え方

私たちは、**グリーンインフラの視点**を踏まえ、自然と歴史が織りなす武蔵野らしい風景を保全・創出しながら、緑の多様な機能を発揮させる維持管理を実践します。

考え方① 新たな景観づくり

《維持管理内容》

眺望や奥行きを感じさせる景観、フォトスポット、また居心地の良い広場づくり等について、ランドスケープチェックによる現場視察や意見交換を行い、修景伐採や透かし剪定、下草刈り等を実施し、眺望や史跡を見せる景観づくりを推進します。

《つなげる多様な機能 一例》

短期：眺望の回復（景観スポットに繁茂した樹木の伐採等）

中期：公園利用者やボランティア等との連携による、新たな景観づくりの取組に展開し地域景観の向上に寄与

長期：地域との連携による景観向上の取組。観光名所地化へ期待



考え方② 水辺再生プロジェクト

《維持管理内容》

専門技術を持つ近隣企業と連携し、微生物の視点から水質を解析。水質や生物多様性を回復させ、地域で「はけ」と呼ばれる水とみどりが一体になった国分寺崖線の風景を復活させます。

《つなげる多様な機能 一例》

短期：微粒子解析により、水質悪化の原因を調査

中期：植生帯増強や浄化装置等による水質や生物多様性の向上

長期：浚渫や大規模清掃等による湧水環境や湿地環境の再生



考え方③ ナラ枯れ対策 DX

《維持管理内容》

近年の急拡大を鑑み、拡大防止の取組を進めます。樹林地の伐採更新や、市民参加型森づくり等、地域連携力を活かして、効果的な対策を中長期で進め、健全で安全な次世代の森づくりを推進します。

《つなげる多様な機能 一例》

短期：専門機関との連携調査やドローンの調査をもとに、計画的な伐採やトラップ設置を行い、感染拡大を防止。

中期：被害状況と生物多様性のポテンシャルから樹林地管理計画を策定し、伐採更新を実施。

長期：地域連携で市民参加型森づくりプログラムを拡充し、次世代の森づくり＆担い手づくりのプロジェクトを実施。



考え方④ AIロボットや電化機材の活用

《維持管理内容》

芝生の管理や樹林地の状況確認に、維持管理業務の効率的かつ品質の向上、作業員の安全対策、を目的に自動芝刈り機やドローンの他、電化機材を導入し、居心地の良い空間づくりを進めます。

《つなげる多様な機能 一例》

短期：作業音の低減、廃棄物の低減による脱炭素への貢献

中期：芝生の品質向上、樹林地の景観向上

長期：公園利用者増と活性化へ期待

緑の多面的機能を発揮する維持管理

景観

環境生物多様性



自動芝刈り機による
良好な景観形成

考え方⑤ 防災と生物多様性を両立させる維持管理

《維持管理内容》

コンクリート構造物による防災ではなく、公園の自然が持つ機能を高めて減災や防災につなげます。池の浚渫、湿地の再生や創出によって雨水貯留機能を向上させ、水害を防止。また、道路際の樹木を伐採し、その場所に自然度の高い草地等を創出することで安全性と生物多様性をともに向上させます。

《つなげる多様な機能 一例》

短期：湿地再生や伐採で防災力や安全性が向上

中期：湿地や草地(伐採跡地)の数が増えて生物多様性が向上

長期：防災対策地でエコロジカルネットワークを形成

緑の多面的機能を発揮する維持管理

景観

環境生物多様性

防災



雨水貯留機能を高める湿地の
再生の取組

3 生物多様性の向上を目指す維持管理の考え方と取組

当グループは、国分寺崖線や浅間山、玉川上水等を有し、「水と緑の骨格軸」として地域の重要な自然環境を有する公園群です。そこで私たちは、エコロジカルマネージャーやパークレンジャーが中心となり、以下の3つの軸と右図の管理手法によって生物多様性を向上させてきました。現在は、144種の希少種が確認されています(2022年3月現在)。

考え方① 生態系の保全と再生

緑の多面的機能を発揮！

環境生物多様性

景観

6公園14箇所の「生物多様性スポット」を設定し、生態系の保全・再生に主眼をおいた戦略的な維持管理を計画・実施。今後も必要に応じてスポットの増設を検討します。また、パクモニやGISの活用によるエコロジカル・ネットワークの強化等、環境保全DXを推進します。

考え方② 生態多様性の普及啓発

緑の多面的機能を発揮！

環境生物多様性

子育て教育

健康レジャー

パークレンジャーによる学校連携等の多彩な教育プログラムを行うとともに、バッタランド等子どもたちの自然体験の場となるふれあいスポットを整備し、武蔵野の動植物の価値を広く伝えます。

考え方③ パートナーシップによる保全

ボランティアや市民団体、企業、大学等、地域のステークホルダーとの協働を推進し、地域一体となって自然を育む文化を醸成します。浅間山公園で作成したガイドラインが協働の促進に効果的であることがわかったため、他公園でも展開します。



バッタランド

緑の多面的機能を発揮！

環境生物多様性

文化伝承

コミュニティ



産官学民との協働で策定した
「浅間山公園保全管理ガイドライン」

重点的取組(予定)

- ・国分寺崖線の湧水を活かした湿地再生(野川、武蔵野、武蔵国分寺)
- ・玉川上水や国分寺崖線の地形を活かした動植物のネットワーク計画(武蔵野、野川、国分寺、玉川上水)
- ・国分寺崖線の保全管理ガイドラインの策定(野川、武蔵野、武蔵国分寺)
- ・緑道保全活用ガイドラインの策定(玉川上水)
- ・ナラ枯れ対策の地域性種苗バンク(武蔵野、浅間山)
- ・武蔵の池再生プロジェクト(武蔵国分寺)